Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

重点駅38カ所選定

道の駅は独自商品の開発や6次産業化で特色を出そうと日々、創意工夫を重ねる。地域の生産者たちと道の駅の連携がそれを支え、それが地元経済や地域活性化を刺激し、地方創生の好循環をもたらす

3・11東日本大震災から5年。大災害時に防災拠点としての「道の駅」が大活躍したことでますます多様な役割が期待されるなか、国土交通省はこのほど新たに「重点『道の駅』」38カ所を選定した。同省は昨年、重点「道の駅」制度を創設し、他の道の駅の参考になるような活動を顕彰しているが、改めて公的施設としての公共性の原点を重視して追加選定した。道の駅制度スタート当初の休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能の他に福祉や防災、観光、文化活動、地域経済など様々な分野でのさらなる活躍が期待されている。

防災拠点など公共性重視　国交省

重点「道の駅」制度は、地方創生の核となり地域が抱える多様な課題解決に向け、優れた取り組みを進める「道の駅」を重点的に支援して、地域活性化の拠点になってもらおうというのが目的だ。

今年は東日本大震災から5年の節目の年。復興を象徴するように、岩手県宮古市の道の駅「たろう」や、原発災害で村中が避難している福島県飯館村の道の駅「（仮称）までい館」も選定された。どちらも壊滅的な被害を受けた市街地の復興の中核施設として「まちぐるみ『道の駅』」を目指して移転、再建する。

選定された道の駅は、それぞれ産業振興や地域福祉、防災、地方移住促進などに積極的に取り組む独自の計画を進めており「小さな拠点」づくりを目指す意欲的な姿勢が評価された。**＝2～3面に関連記事、4面に一覧表**

3・11から5年に合わせて災害からの復興の歩みを確認しようというイベントも各地で行われており、仙台市では2月、「被災地の未来を考える」シンポジウム（読売新聞社主催）も開催、「道の駅」が復興の鍵を握ることが話し合われた。

3月12日には仙台市で、昨年同市で国連世界防災会議が開催されて1年を機に、「仙台防災未来フォーラム」も開かれる。このフォーラムには「ルートプレス」発行元のNPO人と道研究会も、昨年のパブリックフォーラムの実績を評価されてミニプレゼンテーションに参加。災害弱者の高齢者に焦点を当て「高齢者の幸せに貢献する『道の駅』」を報告する。**＝8～9面に関連記事**

6月には「東北の元気」をアピールしようと、被災した道の駅を連携して支えた道の駅をはじめ、東北6県の道の駅が仙台市で「東北『道の駅』まるごとフェスタ」を計画している。道の駅の現場を仕切る駅長さんたちが計画したイベントで、頑張る東北の姿を見せようと準備に余念がない。第2ステージに入った道の駅は、大きな期待を集めるなか、飛躍への様々な試みが続いている。

第47号　INDEX

特集　重点駅38カ所選定	**1～4面**
「被災地の未来を考える」シンポ	**8～9面**
日本風景街道	10～11面
列島保全への課題	6面
道の駅診断	12面
読者の声／パズル／プレゼント	14～15面

道の駅新聞「ルートプレス」は全国の「道の駅」で配布しております。

みちのえき 駅長セレクション

伊勢志摩

大口秀和駅長

伊勢志摩国立公園にあり、駅舎の外観はスペインの風情を感じさせます。案内所では地元の観光情報、物産館では新鮮な海産物を、レストランでは地元の食材を使った料理が楽しめます。5月の伊勢志摩サミットには最高のおもてなしで皆さまをお迎えします。ぜひお越しを。

三重県志摩市磯部町穴川511-5
国道167号　TEL.0599-56-2201

山中温泉ゆけむり健康村

中市真弓駅長

当駅も名湯山中温泉の温浴施設を併設。数奇屋風造りの駅舎横に旧北陸鉄道「しらさぎ号」の本物車両を展示しています。テニス、ゲートボール場、フィットネスジムも利用可。お土産には商工会女性部の手づくり山中塗エコバックが人気です。

石川県加賀市山中温泉こおろぎ町イ19
国道364号　TEL.0761-78-5620

一乗谷あさくら水の駅

東村新一駅長

特別史跡、特別名勝、重要文化財の三重指定を受けている一乗谷朝倉氏遺跡の玄関口に位置し、直径約4㍍の三連水車が目印となっています。越前おろしそばを始めとする手打ちそばを味わえるほか、新鮮な農産物や地域の特産品を販売しています。ビオトープでホタルを飼育中。

福井市安波賀中島町1-1-1
主要地方道篠尾勝山線　TEL.0776-41-2777

道の駅が高齢者の生きがいに

重点駅38カ所選定

駅底上げの刺激
地域に「しごと」を生み出す

重点「道の駅」は、先駆的な取り組みを進める駅を選定し関係機関が連携して重点的に応援する制度。「まち」の特産物や観光資源を活かして「ひと」を呼び、地域に「しごと」を生み出す中核施設で、地域の課題解決の場として「地方創生」「地域活性化」の拠点となる。とりわけ中山間地では高齢化や過疎化に悩む地域が多く、道の駅は高齢者が働く生きがいの場になって希望を与えている。重点「道の駅」が他の駅の参考になり、全体の底上げに刺激になると期待されている。

今回の選定では、公的施設　対応した住民サービスを提供としての公共性を重視し、①　する「地域福祉」③公共交通地域の特産品を活かした「産　の結節点として地域住民に交業振興」②地域の高齢化等に　通サービスを提供する「交通結節点」④災害時に高度な防災機能を発揮する「防災」⑤地域の「観光総合窓口」⑥「インバウンド観光」⑦地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「地方移住等促進」⑧地域間の「交流・連携」……の8つの分野で選定。

国土交通省の各地方整備局等からの推薦を受け、設置自治体などから道の駅の新たな設置や、リニューアルなどの企画提案を「道の駅」有識者懇談会（委員長・石田東生筑波大学システム情報系社会工学域教授）が審査。1月末、国交省が公表した。

「産業振興」分野では、6次産業化で漁業の復興・再生の拠点を目指す岩手県宮古市の「たろう」や、基幹病院と連携し「医食農同源」をテーマに地元農水産物を活用した地産地消の推進を掲げる千葉県旭市の「季楽里あさひ」など13駅を選定。

「地域福祉」では、原発災害からの帰村時の日常生活を支える役場や医療機関と連携した復興拠点となる福島県飯館村の「（仮称）までい館」をはじめ、高齢者への宅配サービスなど買い物支援や安否確認、町民バスと連携した中山間地の生活支援をうたう長野県阿南町の「信州新野千石平」など1駅を選んだ。

「交通結節点」は長距離バス、路線バス、地域コミュニティーバスの結節点の機能がある北海道士幌町の「ピア21しほろ」など4駅。

「防災」では、南海トラフ地震等に備えた防災活動拠点として、愛知県豊橋市の「（仮称）とよはし」「観光総合窓口」は、恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点としてコミュニティーバスの周遊観光も図る福井県勝山市の「（仮称）恐竜渓谷ジオパーク」など2駅。「インバウンド観光」では、世界遺産白神山地の玄関口で、多言語化に対応したインバウンド観光案内所（スタッフ・ガイド）を配置した、秋田県能代市の「ふたつい」を選定した。

「地方移住等促進」では、移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開する群馬県上野村の「上野」や、消防署、医療センター等と連携した「小さな拠点」を形成し、空き家バンク制度を活用し、移住定住等を促進する熊本県阿蘇市の「阿蘇」など4駅になった。

「交流・連携」では、2カ所が選ばれたが、いずれも複数の道の駅を対象に地域を選定したのが特徴。滋賀県竜王町の「竜王かがみの里」と「アグリパーク竜王」をセットにしたのは、集客力のある駅と農業生産力のある道の駅が、土地のものを土地の料理法でもてなす「土産土法（どさんどほう）」で連携する。

広島県と島根県にまたがる国道54号沿線「道の駅」は、三次市、雲南市、飯南町の3市町にある「ゆめランド布野」「赤来高原」「頓原」「掛合の里」の4駅がセット。連携して過疎地域の悩み解消を共通の課題として、「地域の人が集まる道の駅」への再生を目指す。

選定された道の駅はいずれも、相互のネットワーク化により効果を発揮することや地産地消を促進して小さな拠点の形成等を目指し「地方創生」の役割を果たすことが期待されている。

これらの重点「道の駅」に対しては、自治体や関係機関で協議会等を設け、様々な制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作り、駐車場や休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は国交省が支援する。

3面に各分野の主な道の駅を紹介する

地域の道の駅に野菜や花などを出品する生産農家の担い手は、それを生きがいにしているお年寄りが多い

丹精込めた花々が道の駅で売れるのがうれしいという清藤真知子さん（66）＝上
道の駅への出荷前に自慢のトウモロコシを手に取る植田江美さん（73）＝中
栽培した野菜を道の駅に出荷できるのが生きがいという寺尾義昭さん（84）と妻の延子さん（84）＝下

よってけ！島牧
野崎泰生駅長

高さ70㍍幅35㍍の「賀老の滝」や全国一の面積を誇るブナ原生林など自然豊かな島牧村にあります。当駅では、前浜で獲れるうにやあわびなど、新鮮な魚介類を使った海鮮バーベキューが大好評です。うにの一夜漬けなど美味しい特産品も多数販売しています。

北海道島牧村千走 11-1
国道229号　TEL.0136-74-5183

宇土マリーナ
管俊宏支配人

15年7月に宇土の新名所「いか天実演販売」を開設、同年9月に「漁師食堂」をリニューアルし、地元や有明海で獲れた魚を目の前で刺身にして提供しています。網田ネーブルやマテ貝など多くの特産品も揃えてお客様をお迎えし、いか天やネーブルソフトも大人気です。

熊本県宇土市下網田町 3084-1
国道57号　TEL.0964-27-1788

アルプ飛騨古川
青木孝則駅長

乗鞍岳を一望する道の駅。春から秋にかけての山菜、そば、朴葉みそ、地酒がおすすめの特産品です。大型駐車場を完備し、コンビニ、ＥＶ充電も設置。しっとりとした風情と、情緒豊かな景観の城下町「飛騨古川」の観光や宿泊施設などの情報を常駐の案内人が提供しています。

岐阜県飛騨市古川町上町 1348-2
国道41号　TEL.0577-74-0150

みちのえき 駅長セレクション

たろう（岩手県宮古市）

周辺市街地と連携 地区と道の駅が相互に機能補完 地区全体を「道の駅」化

宮古市
山本正徳市長

震災遺構の「たろう観光ホテル」

東日本大震災で沿岸部が壊滅した宮古市の未来に向け「田老地区の再生・創世」を目指す。道の駅、周辺地区、三陸沿岸道が連携した道の駅として旧市街地に移転、地区全体を「道の駅」化。情報発信機能を持つ漁業復興拠点として水産物の直売や6次産業化を図る。

三陸沿岸地域のゲートウェイとしてジオパーク等の観光資源を情報発信し、コンパクトＩＣ間の立地を活かし「学ぶ防災」を軸に企業研修、修学旅行などを誘致。地域間交流やイベントの場とする。

（仮称）までい館（福島県飯舘村）

「『までいライフ』の村」復興のシンボルとして 村の中央部に整備する拠点施設

飯舘村
菅野典雄村長

までい館は、仮設の園児にも明るい未来を届ける場に

「までい」とはこの地域の方言で「ゆっくり、丁寧に」の意味。飯舘村は「までいの力」をキーワードに大量生産、大量消費の生活を見直し、スローライフの村づくりを進めてきたが、福島第一原発事故で全村避難中で、帰村をサポートする地域福祉拠点、産業再生その他復興のシンボルとして整備する。

高齢者など交通弱者のために宅配等を実施し、特に農業復興のため、食べ物より放射線や風評被害の影響を受けにくい「花」をキーワードにした営農再開を進める。

上野（群馬県上野村）

高齢者の交流促進、移住雇用相談 地産品を活用する 地産地消等の「小さな拠点」

上野村
神田強平村長

上野の特産イノブタ

群馬県の道の駅第1号だが老朽化も進み、近隣の富岡製糸場の世界遺産登録などで入り込み客も増え、リニューアルや施設機能の増強が必要になった。

高齢者が気軽に立ち寄れる「おたっしゃサロン」や移住雇用相談窓口「ふらっとサロン」、買い物困難者への宅配サービスと高齢者の足となるデマンドバスの拡充や防災拠点等を整備。特産品のイノブタを目玉とした商品開発やブランド化、宿泊施設や給食センター等で地産品活用の地産地消に取り組む。

（仮称）たがみ（新潟県田上町）

高齢者の活躍・交流の場とし 大学連携による町の活性化 行政・生活サービス機能を集積

田上町
佐藤邦義町長

大学連携で学生のアイデアを生かす

「近き者よろこびて、遠き者来る」をコンセプトに、にぎわい・交流の促進／集落を結ぶ公共交通・宅配サービスを導入、生活サービス等を道の駅に集約／農業、商工業関係者、大学と協働し地域の魅力を発信する拠点とする。

特に、地域活性化の担い手となる人材育成、若者の視点を活かした地域づくりの観点から、新潟薬科大・新潟経営大・新潟中央短大の地元3大学と連携協定を締結、町内の農業・商工業関係者等との共同事業や地域の魅力を活かしたイベント情報など発信。

竜王かがみの里（滋賀県竜王町）

「土産土法」のまちづくりの 実践の場となる観光振興と 農業振興の拠点

竜王町
竹山秀雄町長

笑顔で接客する野菜ソムリエ

町内2カ所の道の駅（集客力の「竜王かがみの里」と農業生産力の「アグリパーク竜王」）を連携させ、まちづくり手法に取り入れている、土地のものを土地ならではの料理法でもてなす「土産土法（どさんどほう）」を推進。

人口減少時代の課題克服のため農業の担い手の育成、農住（空き家対策）窓口の設置などを進め、野菜ソムリエ・就農コーディネーター、生産団地・生産組合等の体制を整備して、農産物のお試し販売までチャレンジできる農業体験などを実施する。

（仮称）とよはし（愛知県豊橋市）

環境に配慮して防災活動 地産地消促進、広域観光情報の 発信等の拠点として整備

豊橋市
佐原光一市長

新たな救援部隊合同指揮拠点

市内初の「道の駅」。名豊道路沿いに位置し、南海トラフ地震等の災害時に備えるため「道の駅」を『豊橋市地域防災計画』に位置づけ、防災活動拠点として太陽光発電・蓄電池・管理装置等の設置と物資の備蓄倉庫を整備。救援部隊の合同指揮本部や一時集結ベースキャンプの場を提供し、物資提供・後方支援等の拠点とする。

また、産業振興として農家と地元企業等が連携した道の駅限定おみやげ開発プロジェクト（6次産業化）による地産地消を進める。

白崎海洋公園
畑中雅央駅長

全体が白い石灰岩に囲まれ、青い海とのコントラストが美しい、風光明媚な道の駅です。スキューバダイビングスポットやログハウス、オートキャンプ場なども整備しており、各種アウトドア体験を楽しんでいただけます。平成百景にも選定されている観光名所です。

和歌山県由良町大引 960-1
主要地方道御坊由良線　TEL.0738-65-3551

グリーンロード大和
高橋由美駅長

昨年4月にリニューアルオープンした小さな道の駅です。レストランでは、美郷町産のブランド猪肉「山くじら」と、駅スタッフの作るお米を使った「山くじら丼」が人気です。「まほろば産直市」も小さな店舗ですが、生産者とお客様の交流の場として活気があふれています。

島根県美郷町長藤 230-2
国道375号　TEL.0855-82-2812

大阪城残石記念公園
三枝邦彦駅長

徳川幕府が拡張・修築工事に使った大坂城の石垣と小豆島の丁場跡を結ぶ歴史を、多くの人々に知っていただく観光拠点です。地元住民にも施設運営に参加してもらって地域振興に努めております。売店では郷土料理のイギス、トコロテン、石材加工品等を販売しています。

香川県土庄町小海甲 909-1
県道26号　TEL.0879-65-2865

みちのえき 駅長セレクション

復興支えた東北連携

6月に『東北6県「道の駅」まるごとフェスタ』

東日本大震災で甚大被害を受けた岩手、宮城、福島3県をはじめとする東北地方。道の駅でも、岩手県の「みやこ」「高田松原」、宮城県の「大谷海岸」、福島県の「よつくら港」「ならは」などは壊滅的被害を受けた。復興を支えたのは、全国の道の駅、とりわけ東北6県の道の駅の連携だった。その後もネットワークを生かし、結束を強めている。

東北各駅の駅長さんたちは、定期的に駅長会議を開いて意見交換したり、情報を共有し切磋琢磨して道の駅の発展に努めており、その努力の結実として6月15～16日、仙台市役所前の勾当台公園市民広場で『東北6県「道の駅」まるごとフェスタ』を開催しようと準備を進めている。

このイベントの特徴は、道の駅の現場に精通している駅長さんたちが発案し、連携して開催を目指していることだ。復興に支援を頂いた方々に感謝し、元気な姿を見てもらおうと、東北6県の各駅が地元ならではの特産品や、そこにしかない独自の開発商品などを持ち寄って販売し、各地の道の駅をPRして観光客らにアピールする。

昨年11月に宮城県気仙沼市で開いた東北「道の駅」連絡会駅長会議では、情報交換や討論をした翌日に「大谷海岸」の現地視察をするなど、積極的に活動している。

東北「道の駅」連絡会が調整や連絡を受け持っているほか、各県の「道の駅」連絡会も独自に活動を続けており、例えば山形県「道の駅」連絡会は定期的に駅長会議を開催し、情報共有の「駅長会議レポート」を定期発行。「理想の道の駅像」に近づくためのアイデアを出し合い、それぞれの実施時期や実施主体も検討して「やまがた『道（未知）の駅』づくり計画書」も作成するなど、連携して地域の発展に情熱を傾けている。

「遠慮せず、ざっくばらんにお話しください」。土井副大臣の呼びかけに、小林さんは「売り場のスペースや納品の車をとめるスペースがもう少し広いといいのですが…」と語り、首都圏などから訪れる観光客に、丹精込めた野菜や果物を少しでも多く直接販売することで収入増を目指す地元生産者の思いを代弁した。

地域のナマの声に接した土井副大臣は「かつてはドライバーの休憩所としての役割が大きかった道の駅が、今や地方創生の最前線になっていることを改めて実感しました」と話していた

大谷海岸の現地視察をする駅長会議の参加者

駅長会議では各駅自慢の産品も披露

副大臣と車座トーク

栃木・茂木町で「道の駅と地域の活性化」議論

車座ふるさとトークに参加した人たち＝前列中央が土井享国交副大臣

地方創生の拠点として「道の駅」に注目が集まるなか、大臣や副大臣が地方に出向いて、地元の人たちと膝を交えて話し合う「車座ふるさとトーク」が1月、「道の駅と地域の活性化」をテーマに栃木県茂木町で開かれた。

政府代表として同町を訪れたのは道の駅を所管する国土交通省の土井享副大臣。地元からは道の駅「もてぎ」の野菜直売所の店長や野菜を出荷している農家の代表、商工関係者ら計10人が参加し、道の駅への思いや国の支援に対する期待を語った。

「売り上げは順調で、4年前には都会に出ていた息子も茂木に戻ってきました」と笑顔で話したのは、夫と2人で育てたダイコン、カブ、ホウレンソウなどを直売所に持ち込んでいる小林ナミ子さん（71）。

「もてぎ」の年間来場者は約160万人。その多くが、採れたての季節の野菜や果物、地元特産のユズで作ったドレッシングやジャムなど、「ここでしか買えない商品」を旅のお土産として買って帰る。

“居場所ができる学校”が、北海道余市町にある

北星学園余市高等学校

教育相談会開催中
3/12(土) 宇都宮市南生涯学習センター
3/19(土) 品川中小企業センター
3/20(日) ウインクあいち
3/21(祝) エル・おおさか

HPをご覧ください

存続させてください！
若者たちの大切な学校を

全国から集まっているのは、不登校や引きこもり経験者・やんちゃしてきた子・摂食障害や発達障害を抱えた子・勉強が出来る子や出来ない子、かつての学校生活に疑問を感じていた子、年齢を重ねた子、などなど。いろいろな個性がごちゃまぜで、みんな一緒に成長している。

去年、生徒数減少による存続の危機が報じられたが、今いる先生も生徒も、下宿のおじちゃん、おばちゃん、町の人も諦めていない。

卒業生や親たちも、「心の故郷」を守ろうと必死に動いてくれている。

北星余市、ここは誰にでも居場所ができる学校なのです。

昼休みの職員室。生徒と先生達の距離がとっても近い。どれが先生か、わかるかな？

北星学園余市高等学校
北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1
TEL.0135-23-2165（職員室）

美山ふれあい広場　小島和幸駅長

かやぶき民家の数多く残る美山町は日本の原風景で、「小さな拠点」のモデルとして観光客が集まるようになりました。道の駅では西の鯖街道ゆかりの鯖寿司、地域ブランドの牛乳や平飼卵、各種手作り加工品が人気で、テント販売によるマルシェも随時開催しています。

京都府南丹市美山町安掛下 23
国道 162 号　TEL.0771-75-0190

蒜山高原　西野幸二駅長

休憩室、情報コーナー、高原散策に便利な自転車の貸し出しがあります。敷地内にホテル蒜山ヒルズが隣接しています。このホテルは27年8月、公共の宿として全国で初めてミキハウス子育て総研「ウエルカムベビーの宿」認定を受け、お子様連れの旅をサポートしています。

岡山県真庭市蒜山富山根 694-129
県道 422 号　TEL.0867-66-7018

はちもり　鎌田義和駅長

秋田県の日本海側最北端にある八峰町は自然に恵まれ、ハタハタが町のシンボル。世界自然遺産の白神山地に源を発する駅内の湧水は昔、津軽の殿様が参勤交代中に飲んで感激した縁で「お殿水」と呼ばれています。白神山地登山の拠点で、付近には温泉、海水浴場など観光ポイントも。

秋田県八峰町八森乙の水 72-4
国道 101 号　TEL.0185-78-2300

重点「道の駅」全38カ所

主な取組	道府県	市町村	駅名	主な特長
産業振興	岩手県	宮古市	たろう	水産物の直売や6次産業化による漁業復興・再生の拠点
	茨城県	常陸大宮市	常陸大宮	全国でも生産量の少ない洋野菜の地産地消及びブランド化の推進
	山梨県	都留市	（仮称）つる	地域伝統野菜の加工品開発による6次産業化
	千葉県	旭市	季楽里あさひ	基幹病院等と連携し「医食農同源」をテーマに、豊富な地元農水産物を活用した地産地消の推進
	長野県	佐久市	（仮称）さくみなみ	健康長寿をテーマに、健康長寿野菜や健康長寿食の提供による地産地消の推進
	富山県	黒部市	（仮称）くろべ	豊かな農産物と希少な海産物を活用した6次産業化の拠点
	三重県	御浜町	パーク七里御浜	柑橘加工商品の開発と6次産業化の推進
	滋賀県	長浜市	浅井三姉妹の郷	起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」の設置による地産地消型産業の振興
	京都府	南山城村	（仮称）南山城村	「村で暮らし続けるための仕掛け作り」として、特産品である南山城茶を活用した商品開発
	大阪府	河南町	かなん	なにわの伝統野菜を使った商品を開発・提供するための施設整備
	鳥取県	琴浦町	（仮称）ことうら	隣接する既存の道の駅との機能分担及び連携し、地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進
	徳島県	美馬市	（仮称）美馬	地元農林水産物の集出荷システムを活用した産地直売所の設置や地域野菜を活用した6次産業化推進
	沖縄県	宜野座村	ぎのざ	宜野座エコ農産物や人材資源等を活用し「食育・地産地消活動」の促進
地域福祉	青森県	横浜町	よこはま	周辺施設を活用した、地方創生拠点を形成する自動車専用道路IC直結の道の駅
	福島県	飯館村	（仮称）までい館	原発災害からの帰村時の日常生活を支える、役場や医療機関等と連携した復興拠点
	群馬県	下仁田村	しもにた	買い物困難者への宅配サービス提供、子育てサポート、公共交通バスの結節点化などによる「小さな拠点」の形成
	新潟県	田上町	（仮称）たがみ	道の駅周辺に公共サービスと生活サービス機能を集約。道の駅と集落地域等を結ぶ公共交通・宅配サービスの導入
	長野県	阿南町	信州新野千石平	高齢者への宅配サービスを通じた買物支援や安否確認、町民バスと連携した中山間地の生活支援
	岐阜県	郡上市	明宝	NPOと連携した日用品の配達及び生活支援サービスによる高齢者支援
	岐阜県	下呂市	飛騨金山ぬく森の里温泉	病院・老人福祉施設等の地域福祉機能等の集約、コミュニティバスや高齢者宅配サービス等による小さな拠点機能の向上
	奈良県	葛城市	（仮称）かつらぎ	高齢者の交通手段確保のためのコミュニティ―バス運行、ICTを活用した買い物支援
	山口県	周南市	ソレーネ周南	高齢者の相談窓口の設置、バス停の整備による、地域住民のサポート体制の構築
	福岡県	八女市	たちばな	地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コニュニティ再生による行政サテライト機能の充実
	長崎県	東彼杵町	彼杵の荘	障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立
交通結節点	北海道	士幌町	ピア21しほろ	長距離バス、路線バス、地域コミュニティーバスの結節点として機能
	福井県	小浜市	若狭おばま	交通結節点機能強化（バスターミナル機能拡張、パーク＆ライド）による観光促進
	三重県	大台町	奥伊勢おおだい	JR、高速バス、路線バスの結節点における行政、文化、、観光、医療サービス拠点の形成
	宮崎県	延岡市	北川はゆま	コミュニティバスの乗入れや高速バスストップの設置、パーク＆ライド機能を備えた乗継拠点
防災	愛知県	豊橋市	（仮称）とよはし	南海トラフ地震等に備えた防災活動拠点
観光総合窓口	福井県	勝山市	（仮称）恐竜渓谷ジオパーク	県立恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点。コミュニティーバスによる周遊観光
	京都府	京丹後市	丹後王国食のみやこ	丹後地域の観光資源、地域食材等を紹介する観光等総合窓口
インバウンド観光	秋田県	能代市	ふたつい	世界遺産「白神山地」の玄関口として、多言語化に対応したインバウンド観光案内所（スタッフ・ガイド）を配置
地方移住等促進	北海道	厚沢部町	あっさぶ	日本版CCRCとの連携により高齢者移住や、新規就農による移住・定住促進に向けた情報発信や総合案内
	群馬県	上野村	上野	移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開
	香川県	三豊市	たからだの里さいた	道の駅の観光ポテンシャルを活かした移住促進（移住コンシェルジュによる相談窓口設置、移住体験ツアー開催等）
	熊本県	阿蘇市	阿蘇	消防署、医療センター等と連携した「小さな拠点」の形成。空き家バンク制度を活用し、移住定住等を促進
交流・連携	滋賀県	竜王町	竜王かがみの里・アグリパーク竜王	土産士法の取組を2駅（集客力のある駅と農業生産力のある駅）連携で推進
	広島県 島根県	三次、雲南市 飯南町	国道54号沿線「道の駅」	自動車道の開通により交通量が減少した国道54号沿線の4つの道の駅の相互連携による、地域の暮らしを持続的に支える環境構築

米の高速で広がる渋滞緩和のレーン

モビリティ　新時代考 3

幹線道路の渋滞は道路交通管理者にとって最大の関心事だ。米国の州間高速道路（インターステート・ハイウェイ）は無料だが、カルフォルニア州、フロリダ州、ミネソタ州等の大都市圏では一部区間を有料にし、道路交通を制御して渋滞を緩和するHOTレーン（High-occupancy toll lane）が急速に広がっており、その話題を紹介したい。

【走行速度に応じてダイナミックに変化する料金】

HOTレーン料金は多くの場合1時間単位であらかじめセットされている。最近はHOTレーンの走行速度を常時計測し、数分間隔で変化させることで走行のサービスレベル（走行速度）を維持するシステムの運用も展開している。まさにITをフルに活用した先進的な取り組みと言える。

【料金を事前に分かりやすく表示】

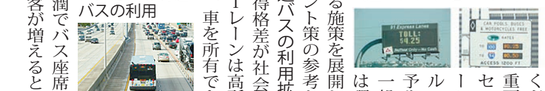
HOTレーンでは料金を事前に分かりやすくドライバーに伝えることが重要。HOTレーンへのアクセスの安全性の観点から、レーン開始区間の分岐点2マイル（3・2キロ）前から料金の予告表示が規定されている。一般道路から高速道路、或いは環状道路への道路交通を誘導する施策を展開している我が国の交通マネジメント策の参考となる。

【高速バスの利用拡大】

所得格差が社会問題となっている米国で、HOTレーンは高所得者への優遇と解釈されるが、車を所有できない低所得者層への効用も現れている。フロリダのI―95では、HOTレーンにより高速バスの所用時間が安定し、利用者数が3倍程度増えた。その利潤でバス座席シートを更新して、さらに利用客が増えるといった相乗効果が現れている。

（公益社団法人土木学会専務理事　塚田幸広）

I-95 HOT レーンにおける高速バスの利用



HOT レーンの料金表示板（左：SR91、右：I-394）

あさひ　白上奈美店長

山口市内から萩市街の中間に位置し、国史跡「萩往還」の休憩所です。伊藤博文公も食したといわれる佐々並豆腐が有名です。また、徒歩5分のところには国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定された佐々並市（ささなみいち）があり、昔の街並みを散策できます。

山口県萩市佐々並 2476-1
国道 262 号　TEL.0838-56-0278

おびら鰊番屋　角谷亨仙代表取締役

北北海道、日本海に面したオロロンラインルート最大の道の駅。昨春オープンした町観光交流センターでは、新鮮な海の幸はもちろん、それを上回る魅力を誇る農産物や黒毛和牛、エゾ鹿肉、各種加工品等をいっぱい紹介しています。ニシン漁具展示など歴史文化も学べます。

北海道留萌市小平町鬼鹿広富 48-1
国道 232 号　TEL.0164-56-1828

さんのへ　藤村立夫駅長

岩手県境に位置し山と緑に囲まれた風光明媚な三戸町は、南部藩の発祥地として800年の歴史を誇っています。三戸城址をイメージする道の駅は「見どころ」「うまいもの」を楽しめるスペースで、三戸せんべい、リンゴジュースなど特産品や民工芸品、周辺市町村のおみやげ品が満載です。

青森県三戸町川守田西張渡 39-1
国道 4 号　TEL.0179-22-0600

列島保全への課題　わが国、国土への働きかけの歴史⑫

全国総合開発計画は五全総が最後に

社会資本の計画的整備ができない時代に

1998年（平成10年）に最後の全国総合開発計画となった「五全総」がまとめられた。背景には、地球環境問題への関心の高まりに加え、アジア諸国の台頭があった。アジア諸国との交流連携を考えずに、わが国の国土計画はなし得ないという認識の始まりである。同時に、概ね10年～15年後あたりを見通す全総計画の中で、五全総は計画期間内の将来に人口が減少し、少子高齢化社会を迎えることをはっきり認識しなければならない最初の計画となった。

95年（平成7年）には、生産年齢人口がピークを迎えたことが明らかになっていた。五全総の時代は生産年齢人口の減少することがはっきりした時代であり、わが国が用意していた経済フレーム等が大きく変化する時代の序章でもあった。この頃から高度情報化時代といわれるようになった。

五全総のキーワードは「多軸型国土構造」と「連携社会」である。打ち出したイメージは、疲弊する中山間地域等を多自然居住地域として創造し、大都市空間をリノベーション（再構築）し、国土全体を多軸の国土軸といくつもの地域連携軸からなる地域連携のまとまりとして考え、ブロック圏を広域的な国際交流をそれぞれが担う広域国際交流圏としてとらえていこうというものだった。これを「二一世紀の国土のグランドデザイン」として提示したのだ。

交流から地域連携へ

四全総の「交流ネットワーク」は五全総の「地域連携」へと変化した。「交流と連携」というようによく並列で語られるが、二語の間には大きな違いがある。地域が連携するには主体としての自覚が不可欠なのに対し、交流にはそのニュアンスがないことだ。

人口減少時代には、A町とB町がそれぞれに図書館や体育施設などの住民サービスを用意することはできなくなる。フルセットで用意するのは無理だから、互いが役割を分担して連携しようとすると、地域の自然特性や歴史性などを考え、A町は何を受け持ち、何をB町に依存するかといった主体的な判断がなければならない。このように、「地域連携」は、地域の主体意識を促す時代を先取りした考えであった。

五全総の時代の2000年（平成12年）3月、四国の県庁所在地が高速道路で結ばれた。それまで4県の知事が会合するのに一番便利なのは空路で大阪に集まることといわれたが、そんな不便が解消した。この時期完成したものでは05年の中部国際空港が最大のトピックである。

開発から国土形成計画へ

全国総合開発計画は五全総が最後となった。開発などという時代ではないとか、地方分権時代に国の計画だけがあるのはおかしいなどと指摘され、全総が各種社会資本整備の計画的な支えの役割を果たしてきたことが、否定的にとらえられたのである。

全総は国土形成計画として引き継がれ、うち全国計画は08年（平成20年）7月に、広域地方計画は09年8月にそれぞれ決定された。

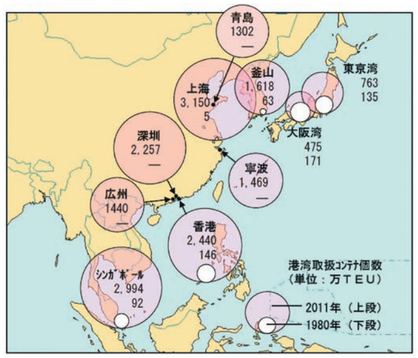
全国計画は15年（平成27年）8月に更新され、本計画では国土の基本構想として、それぞれの地域が個性を磨き、異なる個性を持つ各地域が連携することによりイノベーションの創出を促す「対流促進型国土」の形成を図ることとし、実現のための国土構造として「コンパクト＋ネットワーク」の形成を進めることとしている。

東アジアの台頭とわが国土の相対的劣化

社会資本の計画的整備（重点投資）ができなくなっていくのと並行して、東アジアでは国家集中ともいえるほどの重点投資を行うことで、国を代表する空港・港湾の整備とそれらを連結する高速道路等の整備が進んだ。日本とアジア各国の間に圧倒的な経済力の差があるうちは旧来の考え方でもアジア各国のインフラに劣後することはなかったが、中国や韓国などが経済力をつけて重点投資を続けたため、今日、空港・港湾などの整備では、中国や韓国に大きな差をつけられてしまった。

例えば、これだけの経済力がある国なのに、3500㍍級の滑走路が4本ある空港が一つもないとか、1000～2000万TEUのコンテナが取り扱える港湾がないといった状況に日本はなっている。いくつかの港湾が連携して国際競争に備えるという考え方もあってよいが、大水深港湾を持たなかったり、国内輸送と海外輸送を連携させる港湾・空港を持たないといったことは、わが国の経済的な競争力という点で極めて大きなハンディになりつつある。

東アジア主要港のコンテナ取扱量



出　典：Containerisation International Yearbook1982、Containerisation International September 2011、March 2012をもとに国土交通省港湾局作成

碑（いしぶみ）の記憶⑨

大海嘯記念碑
岩手県大船渡市末崎町

岩手県大船渡市末崎町中森泊里地区の麟祥寺に3基の津波石碑が建つ。記念碑と弔魂碑、慰霊塔で、明治三陸地震津波の教訓を伝える災害の記録のほか、慰霊塔には慶長年間から昭和までの津波の歴史を刻む。生々しい津波の猛威を今に伝える碑文を紹介する。

【海嘯記念碑】

恐ろしき大海嘯の我が三陸の海岸を襲いしは明治二十九年六月十五日旧暦五月五日の午後八時頃なりき。この日終日曇天、午後は殊に濃霧深く小雨さへ混じり夜は月なく陰闇の気物凄き程なり。折しも遠雷の響につれて怒濤澎湃。すはと言う間も何らせず萬雷地軸を挫いて我が村は数十尺の高浪に浸されたり。この日はあたかも端午の節句かつ田植の頃とて他へ嫁いでる者も帰り一家皆打揃う。此の危急の災害誰かは免るべき。親は子を夫は妻を助くる間なく相率いて失いぬ。浪は僅かに五分ばかりにて退けば樹は抜かれ家は流され、満目惨憺。後数日海底に沈みし死骸累々として現る。既に腐敗して性別のつかぬもあり。見も知らぬ他村のものあり。流失して影さへ留めぬもあり。かくて数うれば我が泊里の分、溺死261、各流失家屋57戸なり。ああ痛ましくも恐しいかな。（後略）

3基のうちの海嘯記念碑

参考：国交省東北地方整備局道路部ホームページ「津波被害・津波石碑情報アーカイブ」

国土と日本人
災害大国の生き方
大石久和著

本書では日本の国土の地形的・社会的特徴や国土への働きかけの歴史が明らかにされています。日本人は今、何を考えるべきか、に気づくことの出来る好著。
発行：中央公論新社
定価：882円（本体840円）

池田　大出美晴取締役COO

ハーブの生産や普及に力を入れており、ハーブガーデンは春にはカモミール、初夏にはラベンダーが見ごろ。雄大な北アルプスをバックに美しい風景をご覧ください。昔から養蚕が盛んで今も残る桑の木の有効活用をと、桑茶や桑の実ワインを開発し好評いただいております。
長野県池田町会染6330-1
県道51号　TEL.0261-62-6200

林林館　熊谷信駅長

北上川と北上山地の恵みを受ける山里にあり、地元木材をふんだんに使った温もりあふれる駅。源氏ボタルのふるさとが育てた美味しく、安全安心なものを豊富に取り揃えています。山で自然栽培されたマイタケ・椎茸、北上川河畔で取れたごぼう・長いも等が自慢の特産です。
宮城県登米市東和町米川六反33-1
国道346号　TEL.0220-45-1218

スパ羅漢　西本眞治駅長

自然に囲まれた露天風呂、うたせ湯、サウナなどアメニティあふれる天然温泉でリフレッシュしてください。「心もおなかもいっぱい」がテーマのレストランではすっぽん鍋、地元「きなり鶏」を使った究極の親子丼、物産館ではわさび葉漬や宮島細工の木工品が人気です。
広島県廿日市市飯山21-5
国道186号　TEL.0829-72-2221

みちのえき　駅長セレクション

シリーズ「国土教育」　国土への働きかけの経緯と成果…歴史教科書の取り上げ方

戦後インフラ教育の充実を！

国土に働きかける努力を先人たちが行ってきてくれたおかげで、私たちは国土から生活の安全性や利便性を得ることができている。森林、田畑、河川、水道、道路、鉄道など、国土への働きかけの歴史とその恩恵のもとに、私たちは暮らしている。しかし、こうした当たり前の事実を、普段、私たちが意識することはない。「当たり前」であるが故に、口に出して人に説明することもない。一方で、インフラ整備（公共事業）の必要性とその効果を、十分に理解していない人も少なくないように思う。国土への働きかけの経緯と成果を、わが国の歴史教科書ではどのように取り扱っているのだろうか。

現行の中学校の社会科（歴史的分野）教科書は、国土への働きかけの歴史について、次の事項を取り上げている。

原始から古代の時代区分では、他の時代区分に比べ、また当該時代区分の全体記述量に比べて、国土への働きかけに関する記述量は多い。

植物栽培の開始【縄文時代】／灌漑用水路の整備と水田稲作の拡大【弥生時代】／古墳建設と大和朝廷の国力【古墳時代】／渡来人が伝えた土木技術（ため池造成など）【5世紀頃】／太宰府防衛と大野城・水城の建設【7世紀】／平城京の建設、中央と地方を結ぶ幹線道路（七道）の整備、土地開墾と墾田永年私財法、行基による橋や用水路の整備【以上奈良時代】／土地開墾と荘園【平安時代】

などが採録されている。

中近世では、平清盛による大輪田泊整備と日宋貿易【平安時代末期】／農業の発達（二毛作・牛馬耕・用水技術）、交通の発達（馬借・車借・問丸）【以上鎌倉・室町時代】／戦国大名による国造り【戦国～安土桃山時代】／河川改修・新田開発と耕地面積の倍増、五街道の整備、内航航路（西廻り航路・東廻り航路・河川水運）の開設【以上江戸時代】

などとなっている。

戦国大名による国造りでは、信玄堤（武田信玄により築かれた霞堤（かすみてい）と呼ばれる河川堤防）をコラムで取り上げる教科書が少なくないが、この時代、全国の戦国大名が治水・灌漑・交通路整備に力を注いだ。

肥後国を治めた加藤清正もその一人で、清正公は、暴れ川と言われ何度も熊本城下を襲った白川や緑川に堰を築き、井手（用水路）を掘るなどして広大な穀倉地帯をつくった。大津街道など道づくりにも力を注ぎ、今の熊本のいしずえとなっている。

近代以降では、鉄道の開通、電信網の整備、港や道路の建設、全国鉄道網の整備と国有化、国内・外国航路の開設、北海道開拓、水力発電所の建設【以上明治時代】／電気・ガス・水道の普及、市電・郊外電車・地下鉄・ターミナル駅の整備【以上大正～昭和時代初期】

が採録されているが、現代（第二次世界大戦以降）については、東海道新幹線、高速道路整備、宅地開発、ニュータウン開発といった言葉が教科書本文に散りばめられている程度で、国土への働きかけに関する記述は極めて少ない。

戦災からの復興（名古屋市や広島市にある100㍍道路の整備など）／枕崎台風・カスリーン台風・アイオン台風・伊勢湾台風といった風水害との闘い／数次にわたる全国総合開発計画にもとづく国土造り（6面参照）／道路整備とモータリゼーションの進展による経済成長など、教科書には記述されていない国土への働きかけの歴史が第二次世界大戦以降には沢山ある。

自然災害大国であるにも関わらず、教科書には歴史的規模の大地震や風水害でさえほとんど採録されておらず、それらがわが国の歴史に与えた影響について、解説されることもない。

歴史上の著名な人物や文化遺産等を主人公とする「政治史・人物史」「事件・出来事史」を核とする歴史教科書では、国土形成の歴史や、インフラ整備の役割や効果、インフラ整備に携わってきた人々の苦労などは、教科書全体の中に散見される程度の記述量で、これらを体系的に学習することは難しい。

日本人の国土への働きかけの歴史、わが国の自然災害の歴史は、大石久和著『国土と日本人』（6面参照）に体系的にとりまとめられているので、今後の歴史教科書への活用を期待したい。（国土学アナリスト　森田康夫）

鵜の瀬堰（加藤清正公が手掛けた緑川の治水工事）

中学校の社会科（歴史的分野）教科書

新しい中学歴史教科書の特徴

●いずれの教科書も、歴史上の著名な人物や文化遺産等を主人公とする「政治史・人物史」「事件・出来事史」となっているため、国土形成の歴史やインフラの役割や効果、インフラ整備に携わってきた人々の苦労などを体系的に学習することは難しい。
●現代（戦後）のインフラ整備に関する記述が極めて少ない
●テーマ（発展）学習やコラムには、興味深い学習内容もある。

▼信玄堤（帝国書院、清水書院、育鵬社）
▼宝暦治水にみる水とのたたかい（帝国書院）
▼日本の衛生行政の始まり－長与専斎（日本文教出版）
▼お雇い外国人（育鵬社）
▼八田與一（育鵬社、自由社）など

道の駅　点描

国道愛好家　松波成行

新幹線の開業にともなって、JRの青春18きっぷが使いにくくなってきたというニュースに接し、やや郷愁ともいえる念を抱くのは、かつてその切符を購入し、あてもなく情に任せきりの旅を享受した身であったからなのでしょう。

近年、「ツーリズム」という言葉が耳慣れてきました。エコツーリズムやグリーンツーリズムにはじまり、土木建造物などを巡るインフラツーリズムといった新しいカテゴリーも生まれています。

「ツーリズム」を直接に日本語とするのは難しいのですが、旅の概念である「ツアー」の派生で、語尾に「ズム」と付くように、ある目的や主義を明確にした旅といえるのでしょう。エコやグリーンなど、核となるテーマに沿って日常では感得しにくい見学・体験をするツーリズムは、世界的にも人気です。時代のスタイルが「ツアー」から「ツーリズム」へと変化してきた、と言えましょう。

では、道の駅とツーリズム、それに連動する道は結びつくのでしょうか。道の駅が目的志向型にはなりにくいスタイルなのか、それとも革新的な「ツーリズム」を宿しているのかは、まだ解が見出されていない命題ともいえます。

カギを握るのは情報発信だけではありません。集積される情報のデータ統合（インフォマティクス）が重要になり、マーケティングとも結びつけることが肝要になってくると思われます。

湯の香しおばら　君島浩子販売担当

春は新緑、秋は紅葉と四季折々に渓谷が彩を深める塩原温泉郷の玄関口にあります。お土産コーナーでは切り干し大根を煮た具が入っている切り干し大根まんじゅう、直売所では塩原高原大根、レストランでは地粉「那須の秋そば」を使用した手打ちそばをぜひご賞味ください。
栃木県那須塩原市関谷442
国道400号　TEL.0287-35-4401

朝霧高原　志村正信支配人

富士山を背に、朝霧高原の標高900㍍に位置しています。高原の牛乳ソフトやハムなどの肉加工品が人気です。レストランではヨーグル豚と採りたて葱を使用した肉丼や手作りハンバーグが好評。地元農家の野菜は土作りからこだわって生産・販売するよう努めています。
静岡県富士宮市根原宝山492-14
国道139号　TEL.0544-52-2230

種山ヶ原　松田栄駅長

種山ヶ原は宮沢賢治が愛し「風の又三郎」にも登場する高原で、国道北側の広大な森林公園にも賢治作品をモチーフにした遊歩道が整備されています。物産館では、地元の清流鶏を加工した辛味鶏や味付ハラミ、麹なんばんなどの地元加工品、山菜など山の恵みが人気商品です。
岩手県住田町世田米子飼沢30-39
国道397号　TEL.0197-38-2215

みちのえき　駅長セレクション

復興のカギ握る「道」と「道の駅」

震災5年「被災地の未来を考える」シンポジウム

東日本大震災の復興の歩みと被災地の今後の課題を語り合うシンポジウム「震災5年と被災地域の未来を考える」（読売新聞社主催、国土交通省後援）が2月19日、東京・大手町のよみうり大手町ホールで開かれた。被災地と被災地を後方から支えた自治体のトップ、事業者を束ねて被災地を支援してきたUR都市機構の現地責任者、国交省東北地方整備局の指揮官らが熱く交わす議論に、約380人が聞き入った。（コーディネーターは読売新聞調査研究本部の堀井宏悦主任研究員）

＝写真はいずれも読売新聞社提供

産業と暮らし建て直しが今後の課題

基調講演　筑波大学システム情報工学研究科教授　石田東生氏

震災後5年間の「集中復興期間」が今年度で終わり、復興は第2ステージの「復興・創生期間」に入る。その節目を前に、今後の被災地復興のあり方を論議するのがメインテーマだ。基調講演に登壇した筑波大の石田東生教授（社会資本政策）は「被災地域の復興状況と未来への歩み」と題して語った。

「道路や港湾などインフラの復興は進んでいる」としながらも石田教授は「岩手、宮城、福島の人口は5年前より減少した」と被災3県の厳しい現実を指摘。「今後は、インフラの復興を産業や暮らしの復興にどうつなげていくかが課題。観光や地域産業の復興に果たす『道の駅』の役割が重要になる」と述べた。

基調講演をする石田東生筑波大教授

パネルディスカッション　「復興から飛躍へ！今後必要な施策は何か」

続くパネルディスカッションのテーマは「復興から飛躍へ！今後必要な施策は何か。被災地を代表して岩手県宮古市の山本正徳市長と遠野市の本田敏秋市長が登壇し、国交省東北地方整備局の川瀧弘之局長、独立行政法人都市再生機構の渡部英二・復興支援統括役とともに、今後の復興の方向性と震災教訓の発信の意義について語り合った。

活発な討論が行われたシンポジウム

山本正徳宮古市長

観光と防災教育の拠点を

宮古市の山本市長は、「万里の長城」と呼ばれた防潮堤を津波が乗り越えて押し寄せ、甚大な被害を被った同市「田老地区」で進む復興まちづくり構想について語った。

津波の直撃を受けた旧市街地から高台に住宅を移転する一方で、これまで高台にあった「道の駅たろう」などの商業・観光施設を海に近い旧市街地に移して観光エリアとしてを再構築する――というのが同市の復興戦略の柱の一つ。8月に旧市街地に仮オープンする新しい「道の駅たろう」は1月、国の「重点『道の駅』」にも指定され、田老漁港で水揚げされる新鮮なサケやアワビをその場で焼いて食べられるコーナーが店開きするほか、地元の漁協が開発する水産加工品も販売する。

「道の駅」整備予定地の近くには、津波の直撃を受けた「たろう観光ホテル」が被災当時のまま「震災遺構」として遺されているほか、同地区では震災の翌年から、地元の中学生が津波から逃れた市内にたどった避難ルートを歩きながら「3・11」の記憶を田老地区の人たちから直接聞く「学ぶ防災」の取り組みも続けている。山本市長は「三陸の豊かな自然と海の幸、それに防災教育を土台に据えた観光を、復興の柱にしていきたい」と、将来の展望を語った。

3月10日に大阪で道の駅フォーラム

東日本大震災から5年に合わせ、道の駅フォーラム大阪2016「道の駅の可能性を探る！～地方創生・防災・人材育成～」が3月10日、大阪市阿倍野区のあべのハルカスで開催される。読売新聞社の主催で全国「道の駅」連絡会が共催、国土交通省近畿地方整備局が後援。

公益社団法人日本道路協会の大石久和会長が「道の駅は何を目指すか～期待と課題」と題して基調講演し、事例発表では道の駅「竜王かがみの里」で、新メニューを開発した滋賀短期大学と、道の駅「吉野路大塔」で学生レストランをオープンした帝塚山大学の学生が体験を発表する。

パネルディスカッションは「道の駅の可能性を探る！」をテーマに討論。パネリストは関西大学社会安全研究センター長の河田惠昭氏／道の駅「美山ふれあい広場」駅長の小島和幸氏／道の駅「湖北みずどりステーション」駅長の田邉理人氏／田辺市熊野ツーリズムビューロー会長の多田稔子氏が務め、読売新聞大阪本社の行成靖司科学医療部長がコーディネーターとして司会進行をする。

また、10日から13日までの4日間、あべのハルカス近鉄本店で「道の駅EXPO大阪2016」も同時開催し、道の駅の特産物販売を通じて、道の駅のPRや地域活性化を図る。

後方支援活動を全国に発信

遠野市の本田市長は、津波被害を受けた沿岸地域を支え続けた同市の取り組みを振り返った。大震災後、多くの自衛隊員とボランティアが、遠野に集結して沿岸部を目指した。中でも、炊き出し拠点としてボランティアを支えたのが道の駅「遠野風の丘」だった。

「この先には食料を調達する場所はありません。（道の駅で握った）このおにぎりを持って行って下さい――と言ってボランティアの方々を送り出したのです」（本田市長）。そうした市民ぐるみの取り組みを後世に伝え残そうと昨年3月、当時の活動を紹介する「後方支援資料館」が市内にオープンした。

プレハブ平屋建てで立派な建物ではない。が、救援物資の送り先、沿岸被災地とのやりとりを記録したメモや掲示用の模造紙、災害対策本部の様子を伝える写真など、官民一体で懸命に続けた支援活動の息づかいが感じられる貴重な品々を展示している。

遠野市の取り組みにならうように、いざという時に沿岸地域を支える「後方支援都市」の体制づくりは、南海トラフ巨大地震で沿岸部に大津波の来襲が懸念される宮崎県の内陸都市・都城市などでも始まっている。

「メモ一枚に至るまで、遠野では当時の後方支援の記録はすべて保存しています。『地域と地域はお互いさまで、助け合うのが当たり前』という岩手の取り組みを全国の方々に発信していきたい」。本田市長は言葉に力を込めた。

本田敏秋遠野市長

被災地に寄り添う街づくりの技術者たち

南北約500キロメートルに渡って巨大津波が沿岸部を襲った東日本大震災では、多くの自治体とその職員も被災した。復興事業への一歩がなかなか踏み出せない被災自治体から委託を受け、UR都市機構は災害公営住宅の建設や高台移転といった復興事業を進めた。同機構の復興支援統括役、渡部英二氏は「建設技術者が不足するなか、出来る限り工期を短縮する工夫をするのがUR都市機構の使命でした」と復興の歩みを振り返った。

渡部英二UR都市機構復興支援統括役

被災地に寄り添うようにして事業に従事するURの技術者は約450人。自治体の負担を可能な限り軽減するため、調査・設計から施工までを一括して発注し、URが全工程を総合調整する「コンストラクション・マネジメント（CM）方式」という新しい手法も駆使してきた。

被災地で街づくりの技術者の先頭に立って指揮にあたった渡部氏は、「私たちが持っているコミュニティづくりのノウハウを生かしながら、これからも支援を続けていきたい」と決意を述べた。

地域連携が未来を拓く

シンポジウムでは、被災者の救援から復興に至るまでの間、道路が果たした役割の大きさも浮かび上がった。

「被災地に救援部隊と物資を送る緊急輸送路の確保が発生直後の最大の課題だった」と「3・11」を振り返ったのは、大震災発生当時、国交省東北地方整備局の道路部長として道路の復興・整備を陣頭指揮した川瀧弘之同局長。

川瀧弘之国交省東北地方整備局長

「集中復興期間から次の段階に進む今後は、東北の地域、地域が連携して力を付けていくことが大切。そのためには、道路のネットワークでつながることで、日本海側も含め東北全体が連携しながら前に進んでいくことが重要になる」と議論を締めくくった。

甚大な津波被害を受けた沿岸部に向けて内陸部から順に瓦礫を撤去して進む取り組みは「くしの歯作戦」と名づけられ、救援のため全国から集結した自衛隊員や警察・消防の部隊は、重機を先頭に少しずつ「くしの歯」状に伸びていく緊急輸送路に沿って被災地を目指したのだった。

「地元建設業界などの頑張りで（がれきを最低限取り除き、緊急輸送路を確保する）道路啓開が大きく進んだ」と川瀧局長。

未来の防災に貢献

仙台市が3月12日 防災フォーラム2016開催

3・11から5年。東日本大震災を教訓に昨春、仙台市で開いた第3回国連防災世界会議から1年が経ち、仙台市は3月12日、仙台国際センターで「仙台・東北から防災・減災に取り組んできた市民、行政、研究機関の関係者等が集い、活動事例などを発表。国連防災世界会議で採択された国際的な防災指針「仙台防災枠組2015―2030」を踏まえた今後の活動の方向性や課題を話し合う。

仙台防災未来フォーラム2016のロゴ

道の駅大谷海岸

国連防災世界会議のパブリックフォーラムで講演する鹿野和子JICA専門員（昨年3月16日、仙台市で）

当日は、国連防災会議のパブリックフォーラムに参加した各団体の中から9団体のミニプレゼンテーションも実施。「災害常襲国日本『道の駅』の果たす役割」と題してシンポジウムを開催したルートプレス（NPO人と道研究会）も選ばれた。

元JICA専門員の鹿野和子さんが「高齢者の幸せに貢献する『道の駅』―高齢者と災害『農海林ロード6』の取り組みを中心として」と題してミニ講演。資料作成など神戸大学の松尾隆策氏がサポートする。

鹿野さんは「東日本大震災では多くの高齢者が命を落とした。うち60歳以上の高齢者は全体の66％1万人余を占め、80歳以上は、全体の22％に上り、大災害で最も危険にさらされるのは高齢者。いかに災害弱者である高齢者の生命を守るかが最も重要」として、宮城県の北東エリアの道の駅の連携を事例として取り上げる。

「農海林ロード6」のうち温泉施設を被災者に提供し、避難所、復興拠点となった「上品の郷」はじめ、全壊した「大谷海岸」の復興を、他の5駅が支援。復興市を連携して開催し、その収益金を南三陸町に寄付する等、さらに結束を強めている。

NPO人と道研究会は、ミニプレゼンテーションにあわせて「ブース展示」も実施。高齢者を守る取り組みや大災害時の「道の駅」の果たす役割を考える。

全国160の「道の駅」が採用！
EV用充電インフラならイーオアシスへ！

私共日本充電インフラ株式会社のE-OASISプロジェクトは、お陰様で昨年、全国160の「道の駅」でご採用頂くことが出来、既に100ヶ所以上で運用を開始致しております。
道の駅は「EV充電に最適な場所」。
今や国民的人気スポットとなった「道の駅」。道の駅ならEV充電の30分間でお食事や地域特産品のお買物も出来、充電の「退屈な時間」を「楽しい出会いと発見の時間」に変えられます。是非この機会にEV用充電インフラの導入をご検討下さい。

急速充電器（E-OASIS）設置オープンセレモニー（道の駅「パークセ里御浜（三重県御浜町）」充電ボタンをONにする大畑覚町長）

お問合せは⇒日本充電インフラ株式会社　事業推進部　まで
〒105-0003　東京都港区西新橋1-2-9　日比谷セントラルビル14F
電話：03-5532-7264　FAX：03-5532-7274　E-MAIL：info@e-oasis.jp

イーオアシスなら
1. 初期導入費用ゼロ！
予算獲得のための議会対策が不要です。
2. 補助金申請も全てお任せ！
ご用意頂くのは充電スペースと電源だけ。
3. 運営経費も極力ゼロに！
課金収入に応じて日本充電インフラ(株)が電気料金も分担します。

道の駅「おおむた」福岡県大牟田市

道の駅「たまつくり」茨城県行方市

E－OASISプロジェクトとは
EV・PHVの充電環境整備に尽力してきた充電器メーカー、通信会社、電気工事会社による強力な企業アライアンスです。

駅長セレクション

信州平谷

渡辺一之支配人

初夏は新緑、夏は一面のひまわり畑、秋は紅葉に染まる平谷高原にあり、まずは気軽に天然温泉へどうぞ。全長70㍍のロングスライダー付き温水プール、子供・幼児用プールがあり、高原にはスキー場、コテージ、キャンプ場、平谷湖フィッシングスポット、ゴルフ場なども。

長野県平谷村 252
国道153号　TEL.0265-48-2911

伊吹の里

伊藤信義駅長

日本百名山「伊吹山」の四季を一望できる駅。旬の野菜や山菜・果物・加工品・特産品の直売所や「パン工房」「食房」を備え、伝統野菜（伊吹大根）を使用した「ドレッシング」や「旬彩ロール」は当駅自慢のオリジナル商品です。4月24日に恒例の「山菜祭り」を開催します。

滋賀県米原市伊吹 1732-1
県道40号　TEL. 0749-58-0390

とわだ

竹ヶ原康輝駅長

作付面積日本一のにんにく、名産のながいもなど地場産採れたて農産物を豊富に取り揃えています。毎月第1日曜日、地元農家のお母さんによる旬野菜の田舎風アレンジ料理試食会「一皿会」が人気です。伝統工芸の南部裂織体験工房、大型遊具もあり一日楽しめます。

青森県十和田市伝法寺平窪 37-2
国道4号バイパス　TEL.0176-28-3790

奥出雲おろちループ

四本登駅長

伝説のヤマタノオロチをイメージする日本最大の二重ループ橋途中にあり、新緑や紅葉など四季折々に装いを変える中国山地の景観が見事です。展望台、遊歩道も整備されていて、JR木次線のトロッコ列車もスイッチバックを繰り返しながらゆっくりと登ってきます。

島根県奥出雲町八川 2500-294
国道314号　TEL.0854-52-3111

ひろた

野村忠司店長

「清流の里」で知られる旧広田村にあり、都市部との交流拠点としてイベントのほか地元特産品・地元野菜等を販売しています。愛媛県が推進している「愛媛まるごと自転車道」の中継地になっており、サイクリスト達の憩いの場にもなっています。

愛媛県砥部町総津 162- 1
国道379号　TEl.089-969-2070

ふるどの

緑川佳彦駅長

四季を感じていただけるお店づくりをテーマにし、季節ごとに地元野菜の豊富な種類が並びます。いわきの海と奥州街道を結ぶ「塩の道」、御斎所街道の交通の要所に位置し、道の駅になる以前から地元農家による直売所を続けてきた伝統です。本格手打ちそばも味わえます。

福島県古殿町田口平館 25
国道349号　TEL.0247-53-4070

国土学事始め

アメリカの陸上交通再生法

大石久和
京都大学大学院
特命教授

アメリカのオバマ大統領は2015年12月4日「アメリカ陸上交通再生法（通称FAST法）」に署名し、同法律は成立した。これは10年ぶりとなる5カ年の道路などの整備計画法であり、今後5年間に3050億ドルを投資するというものである。

この計画については予算規模や計画期間をめぐって長い間論争が続いてきたが、大統領選挙が近く、最も政党間の論議が先鋭化するこの時期に整備計画法が成立したことは、アメリカが交通インフラの重要性を深く認識していることを証明している。

3000億ドルといえば1ドルが100円としても30兆円にも達し、単年平均では6兆円という規模となる。国土全体にハイウェイが行き渡っているという印象の強いアメリカが、これからもハイウェイネットワークの拡充などを図り、アメリカの競争力増大と経済成長をうながそうとしているのである。

ところで、このニュースはわが国のメディアではまったく紹介されていない。だからこのアメリカの動きを知る方法がない。しかし、これでいいのだろうか。グローバル時代が来たなどというのなら、海外のいろんな動きを知り、それがわが国の参考になるかどうかを敏感でなければならないはずなのだ。

今やわが国の道路や鉄道・空港・港湾など交通インフラも、河川堤防整備などの防災インフラも先進国の水準からかなり劣後してきた。下水道水の高度処理率ではヨーロッパの主要国から大きく後れている。

インフラ整備については、オバマ氏もキャメロン氏もメルケル氏も自国の競争力や成長の確保には不可欠と述べているが、こうした情報も日本国民にほとんど届いていない。

秩父路ルネッサンス　東海道　風景街道　千曲川・花の里山風景街道　浅間ロングトレイル
4ルートに「関東優秀活動賞」

地域ぐるみの美しいまちづくり・道づくり、「日本風景街道」を関東ブロックで推進している活動グループがこのほど、国土交通省関東地方整備局や自治体、観光、商工団体で組織する風景街道関東地方協議会から26年度「関東優秀活動賞」に選定・表彰された。

「秩父路ルネッサンス」（埼玉県）「東海道　風景街道」（神奈川県）「千曲川・花の里山風景街道」（長野県）「浅間ロングトレイル」（群馬、長野県）の4ルート。

風景街道の主要目的である「美しい国土景観の形成」活動が各地の模範になる、と活動表彰選定等委員会から高く評価された「千曲川・花の里山風景街道」を紹介しよう。

千曲川に沿って飯山盆地を縦貫する国道117号を中心軸に、飯山市、野沢温泉村など2市2村をめぐるルート。

北信州の豊かな自然を輝かせている千曲川と広い河川敷、フラワーロードとも呼ばれ道の駅「花の駅　千曲川」もある国道117号一帯は、四季折々に花々で彩られる。なかでも飯山市の「菜の花公園」は、春には菜の花のじゅうたんで一面黄色に染まる。

道の駅「ふるさと豊田」がある斑尾山ろくの中野市旧豊田村は、唱歌「ふるさと」で〝兎追いしかの山……〟と詠われ、多くの人々に昔懐かしい農村原風景を感じさせる〝日本のふるさと〟。斑尾高原からの北信州の眺望、寺町文化を伝える「小京都飯山」の町並みなど、そぞろ歩きを満喫できる観光文化資源に恵まれている。

加えて、平成19年の風景街道登録を機に、まちづくりや環境など18団体で組織した「北信州パートナーシップ」のメンバーが手分けして、フラワーロードをはじめ主要道路の花植えや清掃活動に乗り出し、花いっぱいが進んだ。

特に昨年は北陸新幹線開業で観光客の大幅アップが見込まれ、飯山市の呼びかけに応じた市民有志による「菜の花里親」が、自宅温室や日当たりのいいところで菜の花の開花を早め、プランター約700箱を3月14日の開業に間に合わせて飯山駅前を飾った。風景街道のめざす地域ぐるみのおもてなし心の発揮として、受賞のポイントになった。

北陸新幹線の開通で美しく整備された飯山駅前

さらに、最近急増している外国人観光客が不案内で困ることがないようにと、在住外国人に協力を求め、国際的にも通じるサインや絵を使った案内看板を各所に整備したことも評価された。

「信越トレイル」での活動はもう一つのルート活動の柱だ。最近盛んな自然を楽しみながら山野を歩くトレッキングの先駆プロジェクトとして知られ、自然に触れながら歩くガイドや自然観察が、四季を通じて人気を集めている。

間もなく桜も開花する花海街道の風景

「南房総・花海街道」で現地意見交換会開く

千葉県の風景街道「南房総・花海街道」の現地意見交換会がこのほど南房総市で開かれ、館山、鴨川、鋸南、南房総各市町や国交省関東地方整備局、千葉国道事務所関係者、小濱哲横浜商科大教授ら有識者が現状を報告、情報交換し、浮かんだ課題などについて今後の活動強化を話し合った。

出席者からは「4市町で立ち上げているウェブサイトの更新が少なく、魅力の向上が必要」「観光案内看板に『南房総・花海街道』をなべく明記するようにしているが、もっとロゴを継続的に利用し、認知度を向上させイメージアップを図ろう」などの意見が出た。

ロゴマークはコシノジュンコさんが手がけ、日本の象徴富士山をモチーフに、歴史や文化が道路を介して未来へと続いていくことへの願いをこめて表現した。

千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート
地元の人が桜を植え、育てた道

横浜商科大学商学部貿易・観光学科
小濱哲教授

桜並木ではサイクリングロードも整備されていた（茨城県道501号桜川土浦自転車道線＝**写真**）。颯爽と走る姿を見るのが嬉しい、と地元の古老が話してくれる。しかし、それだけではないのだろう。幼い頃から地域の交通手段として活躍していた筑波鉄道を忘れないため、後世に伝えるために、サイクリングロードを申請し、少しずつ桜の木を植えていったのだと思った。

この鉄道は、最盛期には上野から筑波駅まで直行列車が走り、急行もあったそうだ。筑波のかつての賑わいと、地域の活力の中心として、この鉄道は存在したのだ。古老の話す想い出話には、活き活きとしていた若い頃のエピソードが盛りだくさんだ。だから桜に丹精を込める。お金をもらって整備しているのではない。人々の思いと願いと将来への期待がこもっていた。

あまり人は行かないが、凄い所があるんですよ、と古老が案内してくれた。車を止めて畦道のような道を辿ると、溜池に映る筑波山があった。穏やかな水面に、快晴の空にくっきりと筑波の山が浮かんでいる。

この山は、いつの頃から人々を集めてきたのだろう。縄文遺跡もあるくらいだから神代の昔から親しまれてきたのだ。畏怖を感じずにはいられない威厳に満ちた山容である。山を美しくみせる場所はたくさんあるのだろうが、古老は自慢げにとっておきの場所だと言う。

観光地化されることにも期待しながら、ここは自分たちだけの場所として、隠しておきたい気持ちが入り混じる。すべての場所を観光地にする必要はないのだ。地元に住む人々が大切に取っておきたい場所もある。

■「道の駅」との連携強化

天皇、皇后両陛下や皇族方が臨席される全国植樹祭や全国育樹祭を都道府県と協働して運営し「国民参加の森林づくり運動」を推進する公益社団法人国土緑化推進機構。「道の駅グリーンプロジェクト」を進め、110カ所を上回る「道の駅」と「緑の募金箱付き新聞ラックの設置に関する協定」を結んで「緑の募金箱」の設置を推進してきた。同機構は、全国「道の駅」連絡会と「ルートプレス」が連携して各地の駅で開催しているプロセスセミナーや巡回写真展に協賛し、ルートプレスを活用して国土緑化に関する情報を発信している。

同機構はこのほど、中核の活動である「緑の募金」をさらに推進したいと、公的施設で交流拠点である「道の駅」との連携強化を全国「道の駅」連絡会に申し入れた。協力を依頼したのは、国土緑化運動期間中のポスターやパンフレット等の設置や、ボランティアによる植樹イベントの開催など。東日本大震災から5年を機に、防災林の再構築などをより強力に進めるため「緑の募金」の充実を図りたい意向だ。

■東日本大震災復興　海岸防災林植樹祭

国土緑化推進機構の東日本大震災復興事業支援を受けた茨城県神栖市・いばらき森林づくりサポートセンター主催の海岸植樹祭がこのほど、同市矢田部で開催された。＝**写真**

神栖市森林ボランティアや小中学生ら地域の関係者約350人が参加、防風垣、静砂垣で保全し客土を施した防災林工事地内に抵抗性の強いクロマツを植栽し、記念植樹や緑の誓いをした。大震災で被災した市有海岸防災林の復旧を図るのが目的で、60キロに及ぶ海岸防災林復旧のシンボル工事とする。

■みどりの女神に飯塚帆南さん

国土緑化推進機構とミス日本コンテスト事務局は、1月に開催した「第48回ミス日本コンテスト大会2016」で「みどりの女神」に飯塚帆南さん（22）を選んだ＝**写真**。飯塚さんは兵庫県出身で昨年国際基督教大学を卒業。上海で育ち米国留学経験もある国際派。

2020年の東京五輪・パランピックを控え、新国立競技場は緑化と国産材を多用する「木と緑のスタジアム」として整備されることもあって「ミス日本みどりの女神」は、日本の木の文化や、緑や木の重要性を発信する役割を担い、農林水産省は森林・林業・木材産業等のPRもする「みどりの広報大使」にも任命。

■みどりの少年団などの緑化活動支援

国土緑化推進機構は平成25年から全労済との協働により、東日本大震災被災地の小学校の「みどりの少年団」の緑化活動などを支援しており、27年度も各地の学校で様々な活動が行われた。

福島県いわき市立藤原小学校では、緑の少年団の活性化、教育環境の向上を目指し、ハナミズキ等の植樹や、サクラの枝伐採と剪定等を実施。昨年末には記念植樹などをした。茨城県石岡市立吉生小学校では、東日本大震災で学校林へ通じる橋や木製遊具等が破損、施設改修とともに学校林の枝打ち・間伐、間伐材を利用した木工体験等を行い、3月には記念植樹などをした。

■国際交流と海の森植樹

国土緑化推進機構などでつくる国際森林デー2016中央行事海の森植樹イベント実行委員会は3月26日、東京都が整備中の東京湾の埋め立て地「海の森」で「国際森林デー2016　みどりの地球を未来へ」～国際交流と海の森植樹～を開催する。

3月21日の国際森林デーは、国連総会で決議、創設され、世界で森林や樹木に対する意識を高める記念日。わが国でも植樹キャンペーンなど、森と木に関連した活動が期待されている。海の森植樹はその中央行事で、大使館・国際機関職員と家族、留学生らと、日本の子どもや市民を招き、人種、民族、国籍を超えて植樹を通して交流を深める。

■きずなコンサート2016

「東日本大震災復興支援チャリティー　緑の募金～きずなコンサート2016」が3月13日、東京・新宿の全労済ホールで開かれる。

今回は福島県から吹奏楽コンクール県大会金賞の相馬高校と相馬東高校吹奏楽部の高校生65人が「Green Wind Ensemble ふくしま」を結成して上京。『飛んでイスタンブール』の庄野真代さんや『Mr. サマータイム』のサーカスの叶高さんらのスペシャルグループ「ベルボトムズ」と共演する。

道がつながる 未来へつながる

道がつながる
街と街がつながり　ひと・もの・文化が結びつく
日本中をつなぐ道　みんながつながる　これまでも　これからも

わたしたちは
保証事業を通じて　安全で活力のある社会を創るための
お手伝いをしています

公共工事の前払金保証・契約保証
東日本建設業保証株式会社
http://www.ejcs.co.jp/
東北はひとつ　日本はひとつ　これまでも　これからも

グリーンスタンプを使って「道の駅」でエンジョイ！
道の駅で、グリーンスタンプ（提携ポイント券）が利用できるお店の一部ご紹介
道の駅の「日帰り温泉施設」や「お食事」にもグリーンスタンプをご利用いただいています！
グリーンスタンプは、全国共通・無期限有効で、50年以上前のグリーンスタンプが今でもお使いいただけます！
最近では道の駅の「日帰り温泉施設」や「お食事」にも、現金の代わりとしてグリーンスタンプがお使いいただけるようになっています。
全国のグリーンスタンプをお集めのお客様にPRでき、リスク少なく送客効果の高い企画として好評です。

日本のベルマーク運動の先駆者として44年間、小中学校を始め地域の活性化のお手伝いもしています。
グリーンスタンプ株式会社
〒100-0005　東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル8階
TEL 03-3214-5211（代表）
どこの道の駅でも展開可能です。
お問い合わせは、グリーンスタンプ（株）広報部まで

花街道付知
田口繁駅長
昔からの木材産地らしく、樹齢300年以上の木曽桧の柱も使った総檜造りの美しい駅舎。広い駐車場にコンビニやステージの有るイベント広場も併設している。売店では、名物の「栗きんとん」など地元特産品の販売、食堂では季節限定のオリジナルメニューなどを提供している。
岐阜県中津川市付知町8581-1
国道256号　TEL.0573-82-2000

松山
中原真駅長
兜をモチーフにした建物内ではスイーツ盛りだくさんのビュッフェが大人気。土日祝日ともなると1～2時間待ちが出るほどです。人気抜群パティシエプロデュースの持ち帰りケーキや焼き立てクロワッサンも販売しております。家族や団体の宿泊施設も完備。
鹿児島県志布志市松山町新橋1526-1
県道飯野松山都城線　TEL.099-487-3800

みとみ
一瀬昭人駅長
埼玉県との境、北の玄関口にある道の駅。西沢渓谷への多くの登山者拠点として、春のシャクナゲ、新緑、秋の紅葉時期は大変賑わいます。地元特産品を販売する売店、オリジナル料理を用意している食堂もあります。釣りやバーベキューができる久渡沢釣り場も近くです。
山梨県山梨市三富川浦1822-1
国道140号　TEL.0553-39-2580

竹田
菊池二郎本部長
九州本土最高峰「くじゅう連山」を望む道の駅。くじゅう高原にドライブに訪れた方から地域の方まで多くの皆様に親しまれています。併設のイチゴ農園では例年12月～5月にかけイチゴ狩りが楽しめます。現在、駐車場の増設工事中であり、更に便利に生まれ変わる予定です。
大分県竹田市米納663-1
国道442号　TEL.0974-66-3553

上矢作ラ・フォーレ福寿の里
宮原博支配人
周囲を緑に囲まれた道の駅で、モンゴルの宿泊施設ゲルやコテージのキャンプ場を併設し、バーベキューや夏の川遊びなどが出来ます。トマト、きのこ、自然薯など地元の新鮮野菜、炭、木工品等の販売を行っています。レストランでは、うどん、そば等の食事が好評です。
岐阜県恵那市上矢作町3566-1
国道257号　TEL.0573-48-3366

あらかわ
新井紀久売場責任者
奥秩父荒川の自然に囲まれ、四季折々の花で彩られます。周辺には時期により花ハス、水芭蕉、カタクリなどが咲き、のどかな里山散策を楽しめます。直売所では地元産旬の野菜や果物を販売しています。レストランでは季節のフルーツまるごとソフトクリームが人気です。
埼玉県秩父市荒川日野538-1
国道140号　TEL.0494-54-0022

駅長セレクション

人口人口 32

芝浦工業大学工学マネジメント研究科客員教授
谷口博昭

安全・安心、インフラの強靭化を

あの東日本大震災から5年が経過、多くの方々のご尽力にも拘らず未曾有の傷跡は未だに癒えない状況ですが、風化が懸念されています。

阪神淡路大震災後橋梁耐震補強が推進された結果、高速道路や幹線道路に大きな落橋や橋脚倒壊の事故がなく、「櫛の歯」作戦により内陸部から沿岸部までの道路啓開が3日間で達成、緊急物資の輸送や災害復旧等が円滑に実施されました。正しく「命の道」ですが、地域を熟知している道路管理者や建設従事者が存在していたからこそ初動活動が円滑に実施されたのです。

今回のような大地震に対しては、ハード・防災のみならずソフト・減災の考え方が重要とされ、防災・減災等に資する国土強靭化法に基づきインフラの強靭化、強くしなやかな種々の施策を推進していくとされました。道の駅にも、従前の休憩、情報発信、地域との連携の他、防災機能の強化が求められています。

脆弱な国土、災害の絶えない今日、備えあれば憂いなし。事後でなく事前予防措置がトータルコスト削減の道です。

厳しい財政状況下ですが、安全・安心の向上には事前予防措置の考え方に基づく予算の強化が望まれます。

笹子トンネル天井板落下事故を機にインフラの老朽化が問題になり、民営化された高速道路に関しては所要措置がなされました。その他道路については、現下の予算内の遣り繰りでなく、1980年代の「荒廃するアメリカ」の教訓を踏まえた米国陸上交通法に基づく基金設置の様な新たな特別措置が望まれます。

現下の国土強靭化、地方創生、成長戦略、財政再建という重要課題に適切に対応し、暮らしや産業を支えるインフラを将来世代に継承していくことが肝要であります。

命は1反の田んぼと直結

農業と国土

NPO生物多様性
農業支援センター
理事長　原　耕造

TPPで日本の農業は危機というが、40万㌶の耕作放棄地があっても日本人としての自然管理責任を意識する人はまずいない。国土開発に伴う自然破壊に反対運動をする人はいるが、農業が日本の国土のメンテナンスをしていると思っている人は殆どいない。

当NPOは田んぼの生きもの調査活動を通じて日本の田んぼの保全を図り、TPPが実施されても日本の稲作農家が田んぼを耕作し続けられる仕組みを模索してきた。コウノトリやトキの放鳥に伴い、田んぼの生物多様性を高めるため、自然保護運動と農家運動を結びつける努力をしてきた。

残念ながら自然保護は反対運動に終始し、農家は差別化商品の意識から脱却できない。日本で有機農業運動が広がらないのは消費者が「食の安全」意識から脱却できず、有機農家は商品の差別化という意識から脱却できないからだ。

精米機と枡

私は地域でのゴミ減量や地域防災等の取り組みを通じ、日常の暮らしの中の取り組みを通じて農地を保全し国土崩壊を免れれば良いと、気づいた。

私の地域では災害を想定して炊き出し食事会を隔月で実施し、家庭の防災保存食として「玄米」の在庫備蓄を勧めている。生ごみを回収して発酵させ農地に入れて野菜を作る取り組みもしている。ゴミ処理工場の広域化に伴いプラスチックの分別回収が始まる中で、流通系の包材はメーカー責任を問うだけだったが、防災備蓄とごみ処理の2つの課題を解決する取り組みが始まったのだ。

玄米を地域住民に推奨するだけでなく、生きもの調査をしている産地から玄米を送ってもらい、地域住民が協働購入する。玄米は家庭によって評価が異なるので、小さな容量の精米機を購入し、精米歩留まりを自分で選択。最近は精米と玄米を購入して家庭でブレンドし炊飯している。取り組みは炊き出し食事会で実験している。

特徴は玄米に「産地」「銘柄」「年産」を表示しないこと。この3点セットの表示は玄米流通の基本で、消費者は普通、表示と価格で精米を選ぶ。私たちは今、4つの産地から3つの銘柄を送ってもらっているが、購入する市民から産地銘柄指定の希望は出ていない。

産地から美味しい玄米を送ってもらっていること、精米したてのご飯の香りの良さが理由だと思う。産地には生きもの調査の取り組みが分かる情報提供もしてもらい、近々フェイスブックに調査活動の様子をアップしたいと考えている。

売り方も新たな発想を導入した。「枡」による量り売りだ。玄米は30㌔㌘の袋に入っており、普通は3㌔や5㌔の袋に小分けする。私たちは「1升枡」と「5合枡」を買ってきて枡売りする。希望する数量を枡で量り、精米する。昔家は米びつの中に1升枡が入っていたが、見たことも無い若者が多い。

10合が1升、10升が1斗、10斗が1石。1升は1升ビン、1斗は灯油の1斗缶があって何となく理解できるが、1石となると読み方も分からず、1石という単位が何を意味するか、殆どの人が知らない。

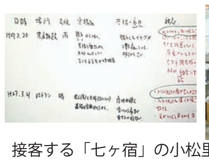
昔は土地の生産性・価値を「石高制」で表した。「加賀百万石」とは、加賀藩の領地全体で100万石のお米換算の農産物が獲れることを意味し、100万人が生きていけることも意味した。当時の日本人が1年間に食べる米の量が1石（約150㌔㌘）だったからだ。

お客様の声で経営改善

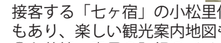
中小企業診断士が見る 道の駅診断 3 成功の法則

「お客様本位」、「お客様満足度を高める」等の言葉をよく聞く。その姿勢はどうでしょう」と助言した。

POSデータによる販売分析やアンケートによるニーズ調査等は当然重要だ。従業員全体でお客様の生の声を大切にする習慣が加われば、店舗運営のみならず事業活動のすべてに関して「お客様本位」が徹底し、成長の仕組みとなる。



接客する「七ヶ宿」の小松里佳さん。漫画家でもあり、楽しい観光案内地図も顧客目線で作成


㊧と苦情・意見の記録のイメージ

・共有し、対応について皆で議論するようにしてはどうでしょう」と助言した。

道の駅の現場従業員は、フランクにお客様と接することで、様々な情報を得ている。顧客属性や売れ筋商品、商品・サービスへの意見、こんなモノがあったら嬉しいというコメントなど、沢山の情報が現場では流れている。苦情こそが、経営を改善し、多くのお客様から愛顧を勝ち取るための重要なヒントとなる。

従業員がお客様に聞いたこと、見たこと、感じたことを記録・蓄積し、品揃えや新たな商品・サービスの開発に活かしていく。売り場スペースなど資源の割り振りを大胆に変える等でお客様のニーズに応える。そうした習慣・ルールが、道の駅の成長につながる。

筆者は、宮城県の「七ヶ宿」で、従業員が聞いたお客様の声を朝礼で確認し合っていると聞いた。「大変よいことなので、大学ノートでもよいから、従業員が得た情報を文字にして蓄積（中小企業診断士　牧哲史）

一般の店はホームページ上に電子掲示板を設置し、お客様とのコミュニケーションの場を持っている例が多いが、中山間地の道の駅ではパソコンの活用が十分でない所が多くすぐには実現しない。まずは、お客様の苦情に心から感謝して「ご指導ありがとうございます」と応え、生の声を記録して皆で共有し、各部門が協力して顧客ニーズの実現に一生懸命になる、そんな組織文化を期待したい。

やぶ
永岡雄二支配人
養父のシンボル「錦鯉」が鑑賞池で泳ぎ回る道の駅です。レストランでは神戸・松坂ビーフの元祖但馬牛ステーキやオリジナル商品の但馬牛すじ丼が賞味でき、但馬牛すじ丼レトルトの商品販売も成功しています。お土産には朝倉山椒佃煮など地元名産品をどうぞ。
兵庫県養父市養父市場 1294 － 77
県道物部養父線　TEL.079-665-0774

西山ふるさと公苑
藤井邦夫駅長
日中国交回復に尽力した田中角栄元総理の故郷西山町と、周恩来元首相の故郷淮安市との友好を深める拠点です。“華の国と出会いふるさとを見つめる”というコンセプトの「西山ふるさと館」、中国の伝統的な宮廷建築の「西遊館」、中国風庭園の「西遊園」などから構成されます。
新潟県柏崎市西山町坂田 717-4
国道 116 号　TEL.0257-48-2839

藤川宿
中根忍駅長
かつて東海道五十三次の宿場町として栄えた伝統を受け継ぎ、賑わいと交流を創出しています。農家さん直送の野菜や果物、地元の特産食材むらさき麦を使用したボリューミーで野菜が多く摂れる定食や丼ものをご用意しています。また、コンシェルジュが食、観光、お土産をご案内します。
愛知県岡崎市藤川町東沖田 44
国道 1 号　TEL.0564-66-6031

みちのえき 駅長セレクション

暮らしの中で農地保全

徳川幕府が400万石といわれ、日本全体で2000万石だった。江戸時代の日本の人口約2000万人と符号する。

石高制が豊臣秀吉の太閤検地によって定められたことはあまり知られていない。教科書には太閤検地で年貢を納めさせたと書いてあるが、検地は農地面積を測っただけでなく、農地面積の単位も変更した。1石の米を生産するのに必要な水田面積を1反300坪（約1000平方㍍）と定めた。

太閤検地前は1反が360坪で、当時の米の生産性を勘案して300坪に変更。日本人1人が生きるには1石の米が必要で、1石の米を生産するのに必要な面積を1反とした。

1升枡の玄米10個で1斗となり100個で1石。その1石は自分が生きるのに必要な食料。その向こうには1反の田んぼが広がっている。

「自分は1反の田んぼによって生かされている」「自分の命は1反の田んぼと直結している」と理解すれば、TPPで安くて美味しい米が輸入されても、日本人としての行動原理は明白になる。日本人は暮らしの原点にある「1升枡」から気付くはずだ。

米袋はゴミ減量の取り組みとして各自持参が原則で、忘れたら有料。精米で出た糠はビスケットにしたり、畑の肥料にする。玄米仕入れ価格は米が持続的に生産できるよう設定し、玄米販売価格が高いという声は出ていない。私はこれが日本の究極的なTPP対策であり、農地保全の意味が暮らしの中で位置づけられ、商品経済の発想から脱却できると確信する。

従来の産直ではなく、離れている地域住民の協働活動を結びつける暮らしの取り組みなので「地域協働活動」と名付け、私の地域では「地域協働マルシェ」を毎月開催している。

玄米だけでなくゴミ減量や防災に協力してくれる地域活動の取り組み品も増やしてお り、こうした活動に取り組む市民団体や自治会、店舗を更に増やしたいと願っている。

道の駅への期待

スカパーJSAT株式会社
宇宙・衛星事業本部 法人事業部　吉岡 桂

道の駅を起点に地域情報発信の仕組み作りを

スカパーJSAT

災害発生時に唯一確実な通信手段になるのが衛星通信です。

スカパーJSATは衛星多チャンネル放送の「スカパー！」でご存知の方も多いかと思いますが、アジア最大の衛星通信会社でもあり、その回線サービスは災害時に必要な通信手段として、防災重要拠点において広くご利用いただいております。

「道の駅」は、いざ災害が起きた場合には避難所や支援チームの中継基地となります。集まってきた人や物がスムーズに動くためには、道の駅に被災現場の情報が集まり、さらに後方支援との連絡手段が確保できることが必要です。

道の駅に「人」「物」そして「情報」が集約することで、災害に対する機能を最大限発揮できると考えています。

このように、災害時に重要な役割を果たす衛星通信ですが、日常的にもご活用いただけるよう、道の駅を訪れる方たちに対し、周辺地域の観光情報や道路情報をお伝えする電子掲示板も合わせて提供しようと検討を進めております。

これは単に設備をご提供するだけでなく、道の駅を起点とした地域情報発信の仕組み作りのお手伝い、地方創生の拠点である道の駅の機能強化へ繋がる試みだと考えています。

道の駅と周辺地域の「今」をリアルタイムにお伝えし、道の駅への訪問がより深いものになっていく、そんな地域メディアを防災機能と合わせて作っていくことを、私たちは目指しています。

■お知らせ
「道の駅への期待」は第2ステージに入った道の駅に対し、「わが社は道の駅でこんな事業を展開したい」「道の駅をこんな風に使っては」などのアピールを、主に企業や各種団体などに提案してもらうコーナーです。その会社などを代表して、個人の考えをベースに持論を展開してもらいます。掲載希望の会社や団体は、本紙編集部（info@route-press21st.jp）までご連絡ください。

今回訪れた「道の駅」に関するアンケート

Q1．あなたが今回訪れてこの新聞を入手した「道の駅」名をお答え下さい。
a)（　　）県　b)（駅名　　）
Q2．今回、当「道の駅」にどなたと一緒にいらっしゃいましたか？
また、ご自分を含めて何人でいらっしゃいましたか？
①一人で ②家族と（　　人）③友人と（　　人）
④仕事仲間と（　　人）⑤その他（　　人）
Q3．当「道の駅」までの交通手段と所要時間をお書き下さい。
交通手段：　①マイカー ②公共交通機関 ③徒歩
④その他〔所要時間：　　分〕
Q4．今回、当「道の駅」を訪れた目的をお答え下さい。（複数可）
①観光旅行中（日帰りを含む）の立ち寄り　②仕事中の立ち寄り
③観光の目的地として　④日常の買い物
⑤当「道の駅」開催イベントへの参加
⑥地元の地域交流活動への参加　⑦その他（　　）
Q5．当「道の駅」で、気に入られた点は何ですか？（複数可）よろしければ（　）内に具体的にお書き下さい。
①職員の対応（　　）②設備（　　）
③地元の人との関わり方（　　）④販売商品（　　）
⑤その他（　　）
Q6．当「道の駅」で、どのような点を改善すべきと思われますか？（複数可）　よろしければ（　）内に具体的にお書き下さい。
①職員の対応（　　）②設備（　　）
③地元の人との関わり方（　　）
④販売商品（　　）⑤その他（　　）

ルートプレスは人と道のあり方を読者とともに考えようと、毎号アンケートを実施しています。ご意見は本紙で報告させていただくほか、道の駅や地域活性化のための資料として活用していただくよう、行政や「道の駅」関係の諸団体などにも提供していきます。ご回答は統計的に処理して結果のみを公表し、個人を特定できるデータを外部に開示することは一切ありません。忌憚ないご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で20人に記念品を贈ります。

ご回答方法

回答用紙に記入して点線に沿って切り抜き、ハガキに貼って投函してください。ホームページ（http://www.route-press21st.jp）からも回答できます。締切は4月30日（土）。宛先は、〒102-0075 東京都千代田区三番町7－1 朝日三番町プラザ　NPO法人 人と道研究会

『道の駅に関するアンケート』回答用紙
Q1：a)（　　）県　b)（駅名　　）
Q2：①　②（　人）③（　人）④（　人）⑤（　人）
Q3：①　②　③　④　〔　　分〕
Q4：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦（　　）
Q5：①（　　）
②（　　）
③（　　）
④（　　）
⑤（　　）
Q6：①（　　）
②（　　）
③（　　）
④（　　）
⑤（　　）
フリガナ　：
お名前：
郵便番号〒：
ご住所：
お電話番号：（　　）－（　　）－（　　）
性別：　男　女
年齢：　歳
ご職業：
通信欄（その他ご意見等がありましたらご記入ください）

とうわ
小原隆駅長
源泉100%掛け流しの天然温泉をはじめ、ホテル、レストラン、特産販売所などを備えた道の駅は憩いのエリア。リンゴやリンゴジュース、ハチミツ、岩手生まれ東和育ち「目の恋人アロニア」ドリンク、ジャムが好評です。5月の連休は全国泣き相撲大会でにぎわいます。
岩手県花巻市東和町安俵 6-147-2
県道 39 号　TEL.0198-42-3006

おおむた
阿部美由紀駅長
開放的なガラス張り建物内で、地元の魔除けシンボル「大蛇山」が皆さまをお迎えします。春はたけのこ、夏はドラゴンフルーツ、秋はみかん、冬はあまおうなど地元の新鮮野菜・果物に加え、天草から毎日直送される水産物が自慢です。特に、いつも格安の野菜類は大人気です。
福岡県大牟田市四箇新町 2-1
主要地方道南関大牟田北線　TEL.0944-50-1187

若桜
山根誠駅長
若桜鉄道終点若桜駅と連結する道の駅。レストランでは、地元の田舎料理やジビエ料理が量り売り形式で食べられます。こだわり豚のウインナーや、銘菓弁天まんじゅう、栃ようかん、地酒などが特産。地元の良いものを多くの方々に知って頂くため各地に営業に出かけています。
鳥取県若桜町若桜 983-2
国道 29 号　TEL.0858-76-5760

みちのえき 駅長セレクション

読者の声

☆育児疲れ解消！

主人とお付き合い始めたころ、デートでいつも道の駅「スパ羅漢」の温泉に来ていました。駐車場でけんかしたこともあったなあ。足掛け5年、今は赤ちゃんにも恵まれました。出産後初めて子育ての疲れを癒しに訪れて食事しようというとき、女性スタッフが赤ちゃんを預かってくれ、ミルクまで飲ませてくれました。おかげでゆっくり食事でき、雑炊を温かいうちに頂くことができました。ありがとう！（広島市　主婦・36歳）

☆薪ストーブ賛成

46号の記事「薪ストーブでエコ暖房推進」を読みました。大賛成です。我家でも薪ストーブです！昨年12月、福島県へ十勝の食材を持参して被災者といろいろ話し合いました。家があるのに帰れない苦しさ、くやしさを訴える声をうかがい、寒さ厳しい北海道でも電気を使える我家の有りがたさを改めて思いました。やはり、少しでも電気を減らすエコな生活を続けなければいけないと思いました。（北海道河東郡　主婦・69歳）

☆楽しい語り部役

道の駅「若狭おばま」で、「若狭の語り部」として訪れる方々に地域のさまざまな情報や観光の案内をし、人々とのふれあいを楽しんでいます。全国の道の駅めぐりをしている方々は、団塊の世代が多いのですね。私も同じ世代の人間として、いろいろな土地を訪れたいと思っています。（福井県小浜市　無職男性・68歳）

☆スマートシニア

映画鑑賞が趣味。劇場で年間120本ほど観ます。46号に掲載された「道の駅文庫」で日野原先生の『いのちの使いかた』を読み、超高齢時代に突入した日本で生きるには、スマートシニアであること、幸福感を持つことが何よりのサバイバル術であるという記述に強く共感しました。そのためには「健康＝魂が満たされた状態」であることが必要と教えられましたので、自分は何をすべきなのか考えたり話し合ったりする機会をつくるよう努めたいと思います。（大阪市　主婦・43歳）

☆紙上道の駅巡り

会社時代はなかなか道の駅巡りもできませんでしたが、今はフリーの身。地元九州から再スタートしています。遠くて行けそうもない道の駅は、「ルートプレス」を読んでその気になっていますので、毎号楽しみです。（福岡県小郡市　無職男性・69歳）

☆ついに150駅！

福井県の道の駅「パークイン丹生ケ丘」を訪れ、ついに150道の駅走破を達成しました。すごく嬉しい！私にとって道の駅めぐりは楽しみである反面、体の不安も大きく、3月に手術をするまでに何とか達成したいと思っていました。感慨無量です。このあとどれだけ行けるかわかりませんけれど、心と体と相談しながら、ぼちぼちと。（岐阜県安八郡　会社員女性・38歳）

☆完全走破を応援

四国道の駅スタンプラリー挑戦中に亡くなった亡主人にかわり、妹さんと完全走破認定書をもらったという46号「読者の声」に感銘しました。私の両親もスタンプブックを持ってドライブを楽しみながら中部道の駅巡りをしています。中でも父は記念切符を集めるのが好きで、ないときは不機嫌な顔になります。完全走破できますよう、応援しています。（愛知県岡崎市　パート女性・37歳）

☆トイレが不可欠

北海道では道の駅がなくてはならない存在だと思います。コンビニもない、トイレ休いけどうしよう…。そんな時は道のえき!!　24じかんトイレ使えるところはありがたいです。道のえき、がんばって下さい。（北海道網走市　大学生女性・21歳）

☆高齢でも車＆駅

今年も道の駅めぐりをしました。岩手の駅でトイレを改修、快適になっていました。地元として喜ばしいことです。高齢者の運転について云々、いろいろ言われていますが、車の運転を制限されては大いに困ります。この楽しみをなくしては生きている甲斐がない（笑い）。来年も旬のグルメや温泉を求めますよ。（岩手県久慈市　無職女性・74歳）

☆商品等独自採点

昨年夏から主人と道の駅めぐりをはじめ、半年で千葉県内26駅を制覇しました。今までなんとなく寄っていた道の駅も改めて目的として行くと、いろいろ気づきました。写真のように大豆のお肉のおもしろいネーミングもあり、たくさん撮影・購入しました。帰って記録をアルバム化し、独断で5点評価しています。珍しい野菜や料理は試食、レシピ配布があるといいのじゃないかしら。（千葉県富津市　主婦・64歳）

☆道の駅を卒論に

卒論で道の駅をテーマにした研究をしていますので、毎号楽しみに読んでいます。46号の日本道路会議開催パネルディスカッション「道の駅の新たな展開を考える」は特に、今どんな議論がなされているか知るきっかけになりました。（京都府京丹後市　大学4年生男性・22歳）

☆点訳奉仕に敬服

地元市社会福祉協議会の広報誌表紙に、私の勤務する会社を定年退職された方の記事が掲載されていました。ボランティアグループのメンバーとして、道の駅レストランのメニューを少しずつ点字に訳しているとのことでした。道の駅は身体の不自由な方々でも快適に利用できるようにと願っていましたので、とてもうれしくなりました。（兵庫県養父市　会社員女性・47歳）

☆今も夢自転車旅

若い頃、よく自転車旅をしていました。道の駅が今のように整備されていたもっと楽にツーリングできただろうと思います。いまだに夢だけは「北海道一周サイクリング」を掲げていますが。（長野県下伊那郡　農業・木工業男性・63歳）

☆郷里棚田に感心

46号の「みどりの里・耳納風景街道」を読みました。先人のつくった灌漑用水路を守っている地域の皆さん、ご苦労様です。私は姥捨て伝説のあったといわれる棚田付近で生まれ育ったので、石橋もある立派な水路などは知りません。でも、棚田も上の方にある池の水で稲を育てていますので、うまい天だと見直しました。（長野市　無職男性・68歳）

◆お便り募集

道の駅や道路などに関する様々なご意見、お考えをお寄せください。ハガキの宛先は、〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ NPO法人「人と道研究会」。電子メールは、dokusya@route-press21st.jp 宛て。写真、カットの投稿も歓迎。採用分には記念品をお送りします。

おもしろ万葉集

奈良　正

梅の花　咲きたる園の　青柳は　かづらにすべく　なりにけらずや（巻五・八一七番）

梅の花が咲いている庭の青柳は、もう充分、頭に巻きつけて、髪飾りにする頃合いになっているのではないか。

少弐粟田大夫の作。万葉の頃の梅は、すべて「白梅」である。梅の花を頭に挿しているのに、更に青柳を冠にしようではないか、と呼び掛ける歌。

白梅の高貴と清楚さが、春の女神を招き、濃緑の青柳の生命力と清新な気力は、延命長寿や若返りをもたらす。作者の目論見である。

×　×　×

世の中は　恋しけしゑや　斯くあらば　梅の花にも　ならましものを（巻五・八一九番）

この世の中は何かと心魅かれて恋しいものだ。梅の花に焦がれるなァ。ええままよ！　いっそのこと〝梅の花になりたい〟。

白梅に陶酔した万葉の歌人たち

豊後守大伴大夫作。「しゑや」は感動詞で、詠嘆・決意などを表わす。

梅に心酔して来世での〝転生〟を願う歌。

×　×　×

梅の花　今盛りなり　思ふどち　挿頭にしてむ　今盛りなり（巻五・八二〇番）

梅の花は今が満開、真っ盛りだ。親愛なる友垣よ。梅の花を頭に飾って、歌い踊ろうではないか。花は今が絶頂なのだよ！

筑後守葛井大夫作。最高潮の梅花にあやかり、一体となり、春に埋没・渾然となり、まさしく自然児たらん!!との歌境である。

×　×　×

梅の花　散らまく惜しみ　わが園の　竹の林に　鶯鳴くも（巻五・八二四番）

私の庭の竹林で、梅の花が散るのを残念がって、鶯がしきりにないているナァ

阿部奥島作。花散るを悲しむ鶯を詠う。

万葉歌人の自由自在な発想と鋭敏な感性は見事である。時として、花となり、鳥となる。森羅万象を全身全霊で感受し、享受する驚異の存在である。（万葉研究家）

かみゆうべつ温泉チューリップの湯

松原斗志子統括マネージャー

道内では数少ない天然温泉を併設している道の駅です。オホ-ツク海からサロマ湖をつなぐ紋別市、網走市の中間地点に位置します。漫画美術館は必見。チューリップが町花で、5月からは広さ7ヘクタールもある近くのチュ-リップ公園で120万本190品種が咲き誇ります。

北海道湧別町中湧別中町 3020-1
道道緑蔭中湧別停車場線　TEL.01586-4-1126

かみおか

鈴木幸寿駅長

江戸日本橋からの「一里塚」が珍しく街道両側に残っています。秋田県民愛用の地元特産品「味どうらくの里万能つゆ」を使用した人気のソフトクリームやラスク、くるみゆべし等品揃え豊富な物産館、地元食材を使ったレストラン、新鮮野菜等の並ぶ直売所が充実しております。

秋田県大仙市北楢岡船戸 187
国道 13 号　TEL.0187-72-4004

風和里しばやま

山﨑正史駅長

温暖な気候と豊かな大地に恵まれた全国有数の農業県千葉県。当駅の直売所にも、特に肥沃な北総台地の恵みをいっぱいに受けて育った県内トップクラスの新鮮な朝採れ野菜が所狭しと並んでいます。成田空港が近いので航空機が発着する様子が駅からもながめられます。

千葉県芝山町小池 2568
県道 62 号　TEL.0479-70-8877

全国「道の駅」連絡会雑感

昨年11月「道の駅」が新たに20駅登録され全国で1079駅となった。1月には地方創生の拠点としての役割が期待される重点「道の駅」が新たに38カ所選定され、国と地域の道の駅に対する期待の表れを感じる。

昨年の訪日外国人観光客は2000万人であった。爆買いが注目される中、外国人観光客の目線は既に地方へ向いている。今後は日本の多様な文化に触れる体験を期待して地方を訪れる観光客が増えると思う。公共交通の利便性が高いとは言えない地方では、自動車交通が主な移動手段で、外国人観光客の移動中の休憩場所や目的地としての道の駅の役割がより重要になる。

昨春、63カ所の道の駅が、政府が認定する外国人観光案内所に新たに登録。道の駅は外国人観光客をもてなす準備が進んでおり、今後外国人観光客に対応可能な道の駅が増えるだろう。地域の顔である道の駅を通して、外国人にも日本人にも日本の良さと刺激を感じてもらいたい。日々道の駅を勉強させてもらっている私でも、新たな道の駅に行くたびに新たな発見と驚きがある。

その一助として全国道の駅連絡会は、道の駅を通して日本を見つめ直す企画を進めている。道の駅で取り扱う日本の伝統工芸品等の地域に根付き育まれた商品の情報を収集し、道の駅との連携により、魅力を再発掘して発信する事業だ。今年は『国際マメ年』なので、初回のテーマは多くの道の駅で扱っている『豆』とした。現在道の駅での豆の取扱い状況等を調査しており、まとまり次第当連絡会のホームページで情報発信する。

様々な魅力が詰まった道の駅を広く発信し、外国人観光客には発見と驚きを、日本人には地域の魅力を再発掘しお伝えする中で地域を深く知ってもらえれば幸いである。

全国「道の駅」連絡会事務局　箱山大樹

読者プレゼント

★新たな団地の魅力を提案する本『団地を楽しむ教科書　暮らしと。』を10人に。

UR都市機構が新たな視点の住宅を提案する東京R不動産と共同編集・制作し好評を得たフリーペーパーの書籍化。グリーン、スポーツなど団地ライフ7風景を写真中心に描いている。

提供：UR都市機構

http://www.ur-net.go.jp/

★プロの味を手軽に家庭で楽しめる「豊の天然だし」（20包）を10人に。

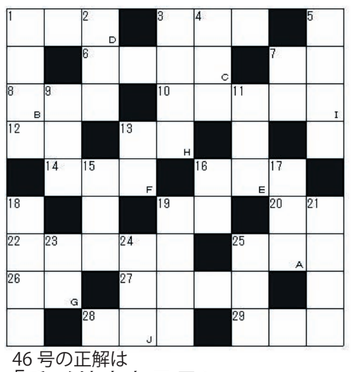
化学調味料・保存料無添加で、鹿児島かつお節、羅臼昆布、大分椎茸など国産素材6種原料から直接抽出し、ホテルや病院の料理人も愛用する。

提供：（株）クエスト

プレゼントへの応募

希望商品名のほか、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧新聞の入手場所⑨関心を持った記事⑩感想・意見を1枚のはがきに記入し、〒102－0075東京都千代田区三番町7－1朝日三番町プラザ　NPO人と道研究会へ。4月30日（土）必着。発送を発表にかえ、個人情報は応募作業およびNPOからのご案内以外の目的には使用しません。

クロスワード人と道パスル



★ヨコの鍵

1　郵便に貼ります
3　買い取りではなくコレで商品の販売をしてもらう
6　水戸黄門の象徴といえば？
7　手の平⇔手の○○
8　銀行に○○○を頼む
10　「闇」にも「閉」にもあります
12　下ではありません
13　ユニコーンの頭上にある
14　こだま、ひかり、○○○
16　大切なものは、こちらに保管
19　夜空にキラキラ輝きます
20　３割が陸なら残りは？
22　リサイクル
25　宍道湖でおなじみの貝といえば？
26　負けない
27　ハワイの有名なビーチリゾート
28　慶応大学創設は福沢○○○
29　ピリピリ…コレを感じます

★タテの鍵

1　梅干しでおなじみ和歌山の地
2　ストップ！
3　寄席に出てくるマジックやモノマネは、この分野
4　村はビレッジ、街は？
5　シーソーやブランコなどがあります
7　スゴロクで動かします
9　東京の駅、パンダ、西郷隆盛像
11　じっと耐える
13　○○と罰
15　足袋をはいてから履く
16　囲碁や将棋がお仕事です
17　年度末は特に道路のコレが多い
18　早起きして交流会
19　耳なし○○○
21　耳の掃除。コレがついついやめられない
23　ポジション
24　ビビりまくり
25　サインはこちらに書いてください

46号の正解は
「チイサナキヨテン」

問題作成　寺崎美保子（てらこへリテージ株式会社代表取締役）http://zeropage.jp

●応募方法　タテ、ヨコの鍵により数字の枠を埋め、英字枠の語をＡＢＣ順にならべたのが「正解」です。正解者20人（多数のときは抽選）に記念品をお送りします。応募は1枚のはがきに正解のほか、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧新聞の入手場所⑨関心を持った記事⑩感想・意見を記入してください。送り先は〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ　ＮＰＯ人と道研究会。4月30日（土）必着。発送を発表にかえ、個人情報は応募作業およびＮＰＯからのご案内以外の目的には使用しません。

道の駅文庫

無私の日本人
磯田道史
文春文庫

町のため全財産を投げ打ち尽くす

「長年、住んできた吉岡は、表通りのいたるところに、潰れ家ができ、空き地にはべんべん草が生え、櫛の歯が欠けたようになってしまっている。いわゆる町場の『草臥れ』（くたびれ）である。このままくたびれていってしまえば、地獄のような困苦がしのびより、この町を覆いつくすのではないか」

物語は、奥州街道沿いの吉岡宿という町が廃れ始め、それを危惧した仙台藩住民たちの町おこしを描いている。

造り酒屋の穀田屋十三郎、浅野屋陣内、茶の製造販売を商う菅原屋篤平次、この3人が町おこしの秘策を企画する。それは、住民有志から千両の資金（寄付金）を集め、藩に融資し、その利息百両を毎年住民に分配して困窮から救う、という奇想天外な案だった。

江戸時代、藩は領民から年貢を搾り取り武士階級を養っていた。その藩から逆に年利を稼ぐ、という逆転の発想。幕藩体制は当時、商品流通が盛んになり、町人階級の勃興で揺るぎ始めて、どの藩も借金でにっちもさっちも行かなくなっていた。吉岡宿の提案は、藩にとっても損はないのだ。札差と呼ばれる商人からの融資では二割の利子がつくのが普通だった。問題は、誰がその原資を出すか？という一点にある。千両の価値は現代なら1億円に相当する。

言いだしっぺの3人をはじめ住民有志が私財を投げうって五百両という大金をつくり、あとの五百両を地元商人から借り、それを藩に融資するという企画を成功させる。

地方の造り酒屋やお茶の製造販売業者である彼らにとって、余裕資金が潤沢に有るわけではない。家財道具や商売道具を質に入れて資金をひねり出す。浅野屋では、先代の町のために尽くせという遺言があり、家業が潰れてもかまわない、という覚悟で資金を提供する。

物語に一貫しているのは、本書の題名にある、自分たちが暮らす町のために全財産を投げ打っても尽くす、という脈々とした「無私の精神」だ。この「無私の精神」こそ、日本人が今思いだすべきことじゃないか、と作者は語っているように思う。

本書は「穀田屋十三郎」のほか「中根東里」「大田垣蓮月」の2編も収録。いずれもさわやかな日本人だ。「穀田屋十三郎」は「殿、利息でござる」という題名で映画化され、5月半ばに公開されるので楽しみだ。

（花信風子）

夢さんさん谷汲

宗宮孝生駅長

周辺地域の観光資源を結ぶ「西美濃夢源回廊」の一角にある道の駅。西国三十三番満願霊場の「谷汲山華厳寺」、即身仏で有名な「両界山横蔵寺」、皇太子殿下をお迎えした第39回育樹祭会場の谷汲緑地公園など、歴史と文化の融合する中心に位置し、特産品のこんにゃく、そばが味わえます。

岐阜県揖斐川町谷汲名礼 1766-27
主要地方道山東本巣線　TEL.0585-56-3750

雪のふるさとやすづか

増野いつ子館長

長野と新潟の県境、棚田が広がる山間地にある小さな道の駅です。春には品質の良い天然の山菜が並びます。地元の農家が栽培した野菜や素朴な手づくりの加工品にこだわって販売しています。自家製造している餅入りのジェラートやモチモチ食感のおやきがおすすめです。

新潟県上越市安塚区樽田 140
国道 403 号　TEL.025-595-1010

東浦ターミナルパーク

下原渉駅長

淡路島北東部に位置し、東浦物産館や産直販売所で淡路島の特産品が購入できます。たこ一匹を丸ごと使用した「たこの姿焼き」を食べることもできますよ。淡路市立中浜稔猫美術館、市立陶芸館、バスターミナルもあり、老若男女が楽しめる複合施設となっています。

兵庫県淡路市浦 648
国道 28 号　TEL.0799-74-2707

Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町 7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

「緑の募金」は、地球温暖化防止をはじめとした課題に向けて、国内外の森林の整備や森林ボランティアの育成などに大切に活用されています。

緑の募金
ご協力をお願いします

春の新緑シーズン（1月～5月）と秋の紅葉シーズン（9月～10月）の年2回
家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などによって行われています。

緑の募金に関するお問い合わせはこちらまで
公益社団法人 国土緑化推進機構
0120-110-381
ホームページアドレス http://www.green.or.jp　電子メールアドレス bokin@green.or.jp

インターネットで募金
midorinobokin.net
スマートフォン・携帯電話からも募金できます！

しらまの里

中山正隆駅長

世界遺産のある熊野地方への玄関口にある日本一小さな駅ですが、平成23年にリニューアルし、おもてなしも日本一を目指し豊富な山の幸、川の幸を販売しています。ジビエ（シシ肉、シカ肉）、鮎やアマゴ、モクズガニの他、香りが良く肉厚の原木椎茸がおすすめです。

和歌山県有田川町宇井苔 213-1
国道 424　TEL.0737-32-4970

保田小学校

大塚克也校長

2014年に学校としての役割を終えましたが、創立126年の歴史を愛する地域の希望を受け、都市交流をめざす道の駅に生まれ変わりました！　体育館を直売所に、教室を宿泊、温浴施設、レストランにと、小学校の雰囲気を残したリノベーションは全国でもユニークな存在です。

千葉県鋸南町保田 724
県道 34 号　TEL.0470-29-5530

まるせっぷ

佐々木修一駅長

三角屋根が特徴の「木芸館」はアカエゾマツをイメージしています。地元産木材を使用した館内では、木の温もりと自動演奏ピアノによる音楽が響き渡り、運転で疲れたドライバーをリフレッシュします。直売所は朝採りの「生しいたけ」、食堂ではじゅんさいそばが人気です。

北海道遠軽町丸瀬布元町 42-2
国道 333 号　TEL.0158-47-2010

みちのえき 駅長セレクション